

令和7年度使用 豊能郡地区中学校教科用図書調査報告書

第2回教科用図書調査研究委員会

国 語

書 写

社会（地理的分野）

社会（歴史的分野）

社会（公民的分野）

地 図

数 学

理 科

音楽（一般）

音楽（器楽合奏）

美 術

保健体育

技術・家庭（技術分野）

技術・家庭（家庭分野）

英 語

道 徳

目 次

国 語	P 1
書 写	P 6
社会（地理的分野）	P10
社会（歴史的分野）	P14
社会（公民的分野）	P19
地 図	P25
数 学	P28
理 科	P33
音楽（一般）	P40
音楽（器楽合奏）	P43
美 術	P46
保健体育	P50
技術・家庭（技術分野）	P53
技術・家庭（家庭分野）	P56
英 語	P60
道 徳	P65

国語（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○生徒にとって興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。例えば、1年の「オオカミを見る目」では、文化が生み出す差異に着目し、3年では「何のために『働く』のか」において、生き方や働き方について考える題材が取りあげられる等、発達段階が考慮されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が、発達段階に応じたものになっている。 ○言語文化に関して、発達段階に応じた適切な内容となっている。例えば、1年生の古典の導入において「浦島太郎」を扱うなど、発達段階に応じた工夫がなされている。また、古典の学習では、掲載した資料から考えを深められるような内容になっている。
三省堂	○生徒にとって興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。例えば、1年の「一〇〇〇円の価値を考える」では、近年急速に普及しているキャッシュレス決済を取り上げている。また、3年では「フロン規制の物語」において、常識を疑う思考力を高めることや、他の教材においても自身のこれからの生き方や働き方について考える題材が取りあげられる等、発達段階が考慮されていることが特に評価できる。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が、発達段階に応じたものになっている。 ○言語文化に関して、発達段階に応じた適切な内容となっている。例えば、「竹取物語」においては、原文と現代語訳が示され、現代語によってストーリーの流れがわかりやすく示されている。また、折り込みや巻末の資料が豊富で、図解を通して古典作品への理解が深まるよう工夫がされている。
教出	○生徒にとって興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。例えば、1年の「自分の脳を知っていますか」では、一人ひとり異なる行動の習性について取り上げている。また、3年では「持続可能な未来を創るために」において、複数の題材を基に自身のこれからの生き方や働き方について考える題材が取りあげられる等、発達段階が考慮されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が、発達段階に応じたものになっている。 ○言語文化に関して、発達段階に応じた適切な内容となっている。例えば、「竹取物語」においては、原文と現代語訳が示され現代語によってストーリーの流れがわかりやすく示されている。また、1年生の古典の導入において「桃太郎」「浦島太郎」など、なじみ深い昔話を入り口として扱っている。
光村	○生徒にとって興味・関心のある題材で、適切な文章の記述と分量になっている。例えば、1年の「ちょっと立ち止まって」では、心理学を題材としてももの見方について考えさせる内容となっている。また、3年では「それでも、言葉を」において、答えのない問いに対し、特に自身がどうこれから生き、また働くのかについて考える題材が取りあげられる等、発達段階が考慮された構成となっていることが評価でき

	る。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が、発達段階に応じたものになっている。 ○言語文化に関して、発達段階に応じた適切な内容となっている。例えば、1年生の古典の導入において「いろは歌」を扱うなど、発達段階に応じた工夫がなされている。
--	--

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○1～3年生ともに詩から始まり、言葉に関する説明文へと続く配列となっている。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動が、バランスよく行われる配列になっている。また、1年「さんちき」では、社会の学習内容と関連していたり、各学年で「他教科で学ぶ漢字」のコーナーが設けられていたりする等、教科等横断的な視点も含めて配列されている。 ○文章の内容を補うような表・図・イラストについて、例えば古典の単元では、絵巻物や地図など、時代背景や内容を理解する資料としてカラーで掲載されている。
三省堂	○1～3年生ともに詩から始まり、物語文へと続く配列となっている。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動が、特にバランスよく配列されている。また、1年「ペンギンの防寒着」では、理科の学習内容と関連していたり、「字のない葉書」では社会の学習内容と関連していたりする等、教科等横断的な視点も含めて配列されている。 ○文章の内容を補うような表・図・イラストについて、例えば古典の単元では、絵巻物や地図など、時代背景や内容を理解する資料としてカラーで掲載されているため理解がしやすい。
教出	○1～3年生ともに詩から始まり、言葉に関する説明文へと続く配列となっている。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動が、バランスよく行われる配列になっている。また、1年「日本語の音声」では、外国語科の学習内容と関連していたり、「森には魔法使いがいる」では、理科の学習内容と関連していたりする等、教科等横断的な視点も含めて配列されている。 ○文章の内容を補うような表・図・イラストについて、例えば古典の単元では、絵巻物や地図など、時代背景や内容を理解する資料としてカラーで掲載されている。
光村	○1～3年生ともに詩から始まり、物語文へと続く配列となっている。 ○「話す・聞く」「書く」「読む」の各言語活動が、特にバランスよく配列されている。また、1年「ダイコンは大きな根？」では、理科の学習内容と関連していたり、2年「翻訳作品を読み比べよう」では外国語科の学習内容と関連していたりする等、教科等横断的な視点も含めて配列されている。 ○文章の内容を補うような表・図・イラストについて、例えば古典の単元では、絵巻物や地図など、時代背景や内容を理解する資料としてカラーで掲載されており、生徒が理解しやすい。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、多様性、キャリア教育、SDGs などに関連する教材が取りあげられている。 ○平和をテーマにした教材として、1年生は「平和のバトン」、2年生では「字のない葉書」、3年生で「生ましめんかな」を収録している。 ○色覚特性に適応したデザインを用い、ユニバーサルデザインフォントを使用している。
三省堂	○戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、多様性、キャリア教育、SDGs などに関連する教材が取りあげられている。 ○平和をテーマにした教材として、1年生は「字のない葉書」、2年生では「壁に残された伝言」、3年生で「海を越えた故郷の味」を収録している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮したデザインになっている。
教出	○戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、多様性、キャリア教育、SDGs などに関連する教材が取りあげられている。 ○平和をテーマにした教材として、1年生は「ベンチ」、2年生では「夏の葬列」、3年生で「薔薇のボタン」を収録している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮したデザインを用い、ユニバーサルデザインフォントを使用している。
光村	○戦争や平和、自然環境問題、防災・安全、多様性、キャリア教育、SDGs などに関連する教材が取りあげられている。 ○平和をテーマにした教材として、1年生は「大人になれなかった弟たちに」、2年生では「字のない葉書」、3年生で「挨拶」を収録している。 ○カラーユニバーサルデザインに配慮したデザインを用い、ユニバーサルデザインフォントを使用している。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「てびき」や「言葉の力」では、見通しをもって主体的に学習に取り組むための流れやポイントが示され、個の学びから伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。また、動画や資料、活動の具体例などのデジタルコンテンツも用意されている。 ○多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されている。例えば、3年「受け取る利他」では、筆者の考えに対して批判的な思考を進める方法について学ぶ。続いて、「具体例、根拠、反対の関係」や「『広告』の批評文」で批評文を作成するための活動をするための分析や、比較判断する活動について取り扱われている。 ○各学年では、本や資料、インターネットなど様々な情報の特徴を理解し調べ、表現するといった情報機器や学校図書館を活用する活動ができるよう工夫がされている。

	る。また、読書や情報に関する単元が随所に配置されており、教科横断的な学習も含め、学校図書館等の機能を活用し、生徒の言語能力や情報活用能力等を育成することができるよう工夫されている。
三省堂	○「学びの道しるべ」や「読み方を学ぼう」では見通しをもって主体的に学習に取り組むための流れやポイントが示され、個の学びから伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。また、動画や資料、デジタルドリル等のデジタルコンテンツも用意されている。 ○多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されている。例えば、3年「フロン規制の物語」では、具体と抽象を用いて、文章の内容をより論理的に学ぶ方法を捉える。その後、「状況に応じて話す力を養う」で、話の構成を考えたり、ものごとを多角的に見たりして相手に論理的に伝える学習を取り扱っている。よって、学んだ内容を自らに返し、意見を表明する力を高める活動につながり、系統性のある学びができる。 ○各学年では、本や資料、インターネットなど様々な情報の特徴を理解し調べ、表現するといった情報機器や学校図書館を活用する活動ができるよう工夫がされている。また、読書や情報に関する単元が随所に配置されており、教科横断的な学習も含め、学校図書館等の機能を活用し、生徒の言語能力や情報活用能力等を育成することができるよう工夫されている。
教出	○「学びナビ」や「みちしるべ」では見通しをもって主体的に学習に取り組むための流れやポイントが示され、個の学びから伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。また、動画や資料、図書紹介等のデジタルコンテンツも用意されている。 ○多様な学習活動を効果的に行うことができるように、言語活動の場面が設定されている。例えば、3年「メディアリテラシーはなぜ必要か？」では、情報の信頼性の確かめ方について考える方法や批判的思考について学び、続いて『新聞が伝える情報を考える』では、社説の比較を通して、多角的な視点でできごとや課題を明らかにする学習が取り扱われている。 ○各学年では、本や資料、インターネットなど様々な情報の特徴を理解し調べ、表現するといった情報機器や学校図書館を活用する活動ができるよう工夫がされている。また、読書や情報に関する単元が随所に配置されており、教科横断的な学習も含め、学校図書館等の機能を活用し、生徒の言語能力や情報活用能力等を育成することができるよう工夫されている。
光村	○「学びへの扉」や「学びのカギ」では見通しをもって主体的に学習に取り組むための流れやポイントが示され、個の学びから伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。また、動画や資料、練習問題などのデジタルコンテンツも用意されている。 ○多様な学習活動を効果的に行うことができるよう、言語活動の場面が設定されている。例えば、3年「複数の意見を読んで、考えよう」では、複数の文章を比較することでそれぞれの主張の要旨や観点をまとめたあと、それを基に自分たちはそれらに対しどう考えるかを吟味し、自分ごととして意見を表明する活動が取り扱われている。

	ることも特筆に値する。 ○各学年では、本や資料、インターネットなど様々な情報の特徴を理解し調べ、表現するといった情報機器や学校図書館を活用する活動ができるよう工夫がされている。また、読書や情報に関する単元が随所に配置されており、教科横断的な学習も含め、学校図書館等の機能を利活用し、生徒の言語能力や情報活用能力等を育成することができるよう工夫されている。
--	---

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東 書	○二次元コードから、動画や練習問題などを活用できるようになっている。 ○資料編に物語文・説明文・古典作品などが追加で紹介されている。また、巻末にノートを取り方や辞典の使い方、要約の仕方など、学習に関わる技能の手引きがまとめられている。
三省堂	○二次元コードから、動画や練習問題などを活用できるようになっている。 ○巻末に文章の「読み方に関するポイントのまとめ」や「メモの仕方」、「話し合いの仕方」など、対話に関わる知識や技能がまとめられており、言語活動を進めるにあたってのポイントがたいへん分かりやすい。
教 出	○二次元コードから、動画や図書紹介などを活用できるようになっている。 ○資料編に物語文・説明文・古典作品などが追加で紹介されている。また、巻末に「文学的な文章や説明的な文章の読み方」などについてまとめられている。
光 村	○二次元コードから、動画や練習問題などを活用できるようになっている。 ○適切な語彙を使う力を高めるための「語彙ブック」がついている。創作活動や内容をまとめる活動を行う際に出てきにくい言葉を観点ごとにまとめており、生徒の活動に対する手立てとなる。また、巻末に「文学的な文章や説明的な文章の読み方」「表現の技術」などについてまとめられている。

書写（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○基本点画の書き方について詳しく説明がされており、各学年で適切な指導内容が取りあげられている。 ○「年賀状を書こう」「本のポップを書こう」「思いを文字で表そう」などを取り扱い、毛筆で学習したことを硬筆にも生かせる構成である。
三省堂	○基本点画の書き方について詳しく説明がされており、各学年で適切な指導内容が取りあげられている。 ○「グループ新聞を作ろう」「情報誌を作ろう」「名言集を作ろう」を取り扱い、毛筆で学習したことを硬筆にも生かせる構成であることも特筆に値する。
教出	○基本点画の書き方について詳しく説明がされており、各学年で適切な指導内容が取りあげられている。 ○「ポスターを書く」「新聞を書く」「案内状を書く」などを取り扱い、毛筆で学習したことを硬筆にも生かせる構成である。
光村	○基本点画の書き方について詳しく説明がされており、各学年で適切な指導内容が取りあげられている。また、「学びのカギ」でポイントがわかるように特に工夫がされている。 ○「情報収集の達人になろう」「職業ガイドを作ろう」「冊子にまとめよう」を取り扱い、毛筆で学習したことを硬筆にも生かせる構成である。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○系統的に単元が配列されている。また、小学生での学びが振り返られるようになっている。 ○「文字の移り変わり」「本のポップを書こう」などで、他教科等と関連させた学習活動が取りあげられ、関連する教科がマークとともに示されている。 ○左ページに手本、右ページに学習の進め方、ポイントが配置されている。
三省堂	○系統的に単元が配列されている。 ○「文字の変遷」「グループ新聞を作ろう」などで、他教科等と関連させた学習活動が取りあげられている。 ○左ページに手本、右ページに学習の進め方、ポイントが配置されている。
教出	○系統的に単元が配列されている。 ○「学校生活に生かして書く」「文字の変遷」などで、他教科等と関連させた学習活動が取りあげられている。 ○右ページに手本、左ページに学習の進め方、ポイントが配置されている。

光村	○系統的に単元が配列されている。 ○「文字の歴史を探索」「季節のしおり」などで、他教科等と関連させた学習活動が取りあげられている。 ○見開きに半紙と同じ大きさの手本、前ページにポイントが配置されていることもよい。
----	--

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○カラーユニバーサルデザインが使われている。また、色覚特性に適応したデザインになっている。 ○写真、イラストなどで人物を考慮している。また、書き込み欄も大きい。 ○巻頭の「用具の名前・置き方」には、左手で筆を持つ場合の説明が記載されている。
三省堂	○手書き文字に近いフォント、カラーユニバーサルデザインが使われている。 ○写真、イラストなどで人物を考慮している。また、書き込み欄も大きい。 ○QRコードから左利き用の動画をウェブ上で見ることができる。
教出	○手書き文字に近いユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインが使われている。 ○写真、イラストなどで人物を考慮している。また、大判の冊子の特性を生かし、書き込み欄も特に大きく配置がされている。 ○巻頭の「姿勢と用具の使い方」に左利き用の用具の置き方についての図版が掲載され、QRコードから同じ図版をウェブ上で見ることができる。
光村	○カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザイン書体を取り入れ、さらにコラムでユニバーサルデザイン書体の説明があることも特によい。 ○ジェンダー平等の観点や、多様な文化を取り上げ、写真、イラストなどで人物を考慮している。毛筆手本は半紙原寸大で掲載されており、すべての生徒に分かりやすい構成である。 ○「中学書写スタートブック」のページに「左手で書く人」と表記のあるQRコードが記載され、左きき用の動画をウェブ上で見ることができ、きめ細かな配慮がされている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「学習の進め方」を提示することで、見通しを持って学ぶことができる。個の学びから、伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するような配慮がされている。またQRコードからWebサイトにアクセスし、解説動画や参考資料を確認することができ、個別に学びを深めるための手だてとなる。 ○「楷書」については、基本の点画の書き方と筆使いを、朱筆等を用いてわかりやすく

	示している。「行書」については、段階を経て学べるよう工夫されている。 ○学年ごとに生活の中での活用など、目的に応じた書き方について考える課題が設定されている。 ○「多様な表現」については、文字の変遷や生活の中で見られる文字などを取り上げている。
三省堂	○「学習の進め方」を提示することで、見通しを持って学ぶことができる。個の学びから、伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するような配慮がされている。また、QRコードからWebサイトにアクセスし、解説動画や参考資料を確認することができ、個別に学びを深めるための手だてとなる。 ○「楷書」については、基本の点画の書き方と筆使いを、朱筆等を用いてわかりやすく示している。「行書」については、段階を経て学べるよう工夫されている。 ○書写についてのポイントをまとめた折り込みが、巻末についており、目的に応じた書き方について考えることができる。 ○文字の変遷を載せ、看板職人やタイプデザイナーなどの「手書き」で活躍する人を特集することで、文字文化の魅力を紹介している点も生徒の興味を強く引き付ける構成である。
教出	○「学習の進め方」を提示することで、見通しを持って学ぶことができる。個の学びから、伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するような配慮がされている。また、QRコードからWebサイトにアクセスし、解説動画や参考資料を確認することができ、個別に学びを深めるための手だてとなる。 ○「楷書」については、基本の点画の書き方と筆使いを、朱筆等を用いてわかりやすく示している。「行書」については、段階を経て学べるよう工夫されている。 ○書写で身につけた力をどのように生かすかを考え、楷書と行書の使い分けなど、対話を通して考えることができるように工夫されている。 ○「多様な表現」については、身の回りにある看板などに書かれた文字や全国の城址の文字を取りあげている。
光村	○「学習の進め方」を提示することで、見通しを持って学ぶことができる。個の学びから、伝え合うなどの言語活動を通じて、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するような配慮がされている。また、QRコードからWebサイトにアクセスし、解説動画や参考資料を確認することができ、個別に学びを深めるための手だてとなる。 ○「楷書」については、基本の点画の書き方と筆使いを、朱筆等を用いてわかりやすく示している。「行書」については、段階を経て学べるよう工夫されている。 ○課題の最初に「考えよう」の項目があり、見方・考え方を働かせながら、楷書と行書の使い分けなど、対話を通して考えることができるように工夫されている。 ○「多様な表現」については、「全国文字マップ」で身の回りのさまざまな文字を取り上げている。また、有名人のサインを取り上げた特集があり、手書きのよさに関してもマンガで親しみやすく表現していることは学び方の工夫として特に評価できる

	点である。
--	-------

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「生活に広げよう」では、学校行事とつなげることもねらった発展学習が可能である。 ○お礼状やポスター・フリップの作成などの補充教材が設定されている。 ○「常用漢字表」と「人名用漢字表」が楷書と行書で示されている。 ○QRコードの読み取りでインターネットを使った学習ができる。
三省堂	○グループ新聞や情報誌の作成などの補充教材が設定されている。 ○書写に関するテストの問題が設定されているため、特に生徒の力を伸ばすことができる。 ○臨書についての説明がある。 ○QRコードの読み取りでインターネットを使った学習ができる。
教出	○メモの取り方や観察のレポートの書き方などが紹介されている。 ○書写テスト、書式の教室、ポスター作成などの特集がある。 ○小学校と中学校で学習した漢字一覧表が楷書と行書で示されている。 ○QRコードの読み取りでインターネットを使った学習ができる。
光村	○日常に役立つ書式（手紙・葉書・年賀状・包み紙・願書など）の特集があるため、授業以外でも興味をもち、調べ、実際の社会生活に活かした学びを特に進めることができる。 ○「常用漢字表」と「人名用漢字表」が楷書と行書で示されている。 ○硬筆学習用の「書写ブック」が別冊となっている。 ○QRコードの読み取りでインターネットを使った学習ができる。

社会（地理的分野）（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○生徒の発達段階に即した記述内容や分量になっている。重要語句については、本文上で太字にし、側注や巻末には用語解説が取りあげられている。また、世界、日本の諸地域では、導入、展開、まとめの順に書かれており、構成と学びの流れがわかりやすい。 ○写真、挿絵、図、表などの資料については、非常に見やすく、比較しやすいようになっている。
教出	○生徒の発達段階に即した記述内容や分量になっている。重要語句については、本文上で太字にし、側注や巻末には用語解説が取りあげられている。また、世界、日本の諸地域では、本時ページ、学習をふりかえるページ、特設ページ「クロスロード」の順に書かれており、構成と学びの流れがわかりやすい。 ○写真、挿絵、図、表などの資料については、非常に見やすく、比較しやすいようになっている。
帝国	○生徒の発達段階を考慮した記述内容や分量になっている。重要語句については、本文上で太字にし、側注には用語解説が取りあげられている。また、世界、日本の諸地域では、異文化理解や国土理解を深めるため、導入、本文ページ、まとめの順で書かれており、構成と学びの流れがわかりやすい。 ○写真、挿絵、図、表などの資料については、非常に見やすく、比較しやすいようになっている。
日文	○生徒の発達段階を考慮した記述内容や分量になっている。重要語句については、本文上で太字にし、巻末には用語解説が取りあげられている。また、世界、日本の諸地域では、大観、導入、本文（追究）ページ、まとめ・振り返りページの順で書かれており、構成と学びの流れがわかりやすい。 ○写真、挿絵、図、表などの資料については、非常に見やすく、比較しやすいようになっている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「世界と日本の地域構成」「世界のさまざまな地域」「日本のさまざまな地域」の順で学習する配列になっている。また、学習したことを生かすことができるように、身近な地域の将来像を構想する「持続可能な地域の在り方」が、「日本のさまざまな地域」の最後に配列されている。 ○見開きで1単位時間とし、導入資料、学習課題、本文、「チェック&トライ」の流れになっており、学習内容を定着できるようになっている。

教出	○「世界と日本の地域構成」「世界のさまざまな地域」「日本のさまざまな地域」の順で学習する配列になっている。また、学習したことを生かすことができるように、身近な地域の将来像を構想する「地域のあり方」が、「日本のさまざまな地域」の最後に配列されている。 ○見開きで1単位時間を原則とし、学習の見通しが立てやすく、本文と資料とのバランスを考え、資料を読み解く手掛かりを示す工夫がされている。導入の「LOOK」、資料の読み取り・考察のポイントを提示した「THINK」、思考力・判断力・表現力を高める「TRY」が、学びを助ける三本柱となっている。
帝国	○「世界と日本の地域構成」「世界のさまざまな地域」「日本のさまざまな地域」「地域のあり方」の順で学習する配列になっている。また、学習したことを生かすことができるように、身近な地域の将来像を構想する「地域のあり方」が最後に配列されている。 ○見開きで1単位時間とし、導入、学習課題、本文、「確認しよう」「説明しよう」の展開で構造化され、基礎的・基本的な知識及び技能が定着できるようになっている。
日文	○「世界と日本の地域構成」「世界のさまざまな地域」「日本のさまざまな地域」の順で学習する配列になっている。また、学習したことを生かすことができるように、身近な地域の将来像を構想する「地域の在り方」が、「日本のさまざまな地域」の最後に配列されている。 ○見開きで1単位時間とし、学習課題が明示されている。基礎的な知識及び技能の定着をねらいとした「確認」コーナーや「表現」コーナーが設けられている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○紛争と難民の発生について、ヨーロッパの単元とアフリカの単元で取り扱われている。 ○世界の様々な宗教や文化を取りあげている。世界の諸地域ごとに「もっと知りたい」や「未来にアクセス」が設置され、地域の課題や文化について紹介されている。
教出	○紛争と難民の発生について、宗教と民族の関係を学ぶページと、ヨーロッパの単元、アフリカの単元で取り扱われている。 ○世界の多様な文化の尊重について、適切に取り扱われている。世界の諸地域ごとに「地理の窓」が設置され、民族や歴史的背景について紹介されている。
帝国	○紛争と難民の発生について、アジアの単元とヨーロッパの単元で取り扱われている。 ○世界の諸地域ごとに「未来に向けて」や「地理プラス」が設置され、諸地域の多様な価値観や文化の共生をはかる人々の姿が紹介されている。
日文	○紛争と難民の発生について、アジアの単元、ヨーロッパの単元、アフリカの単元で取り扱われている。 ○世界の多様な文化の尊重について、適切に取り扱われている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○各章の章末部に「ベン図」「ウェビング」といった多様なツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け、思考を整理し、学びを深められるように工夫されている。 ○小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」や「まとめの活動」などを設け、対話的な学習を実践することによって、より深い学びにつながるように工夫されている。
教出	○学習コラム「地理の窓」や地理的な技能が定着するコーナー「地理の技」を設け、「地理的な見方・考え方」を働かせた学びができるよう工夫されている。 ○「身近な地域の学習」では、生徒自らが地域調査に臨めるような工夫だけでなく、地域の伝統文化を大事にしている事例や、地域で進んでいる多文化共生の事例を取りあげ、学習を深めていく工夫がされている。 ○「地域のあり方」の単元における地域の課題の見つめ直しや課題の解決方法の考察、「特設・クロスワード」で取りあげられる話題についての考察を通して、社会への関心を高め、自ら行動していこうとする態度を養えるように工夫されている。 ○巻頭から第1編にかけて多くの「振り返り」を取り入れ、小学校から中学校へスムーズに社会科の学習が移行しやすい工夫がされている。
帝国	○各章・節末の「学習をふり返ろう」では、章・節の学習で得た知識を活かして、「地理的な見方・考え方」を働かせつつ、「単元を貫く問い」に対して思考ツールを用いて、自分の考えを整理・構造化できるように工夫されている。 ○コラム「未来に向けて」では、持続可能な社会を実現するための人々の取り組みを示すことで、SDGs への関心を持ち、社会に対し生徒自身がどのように関わっていくかを考えることができるよう工夫されている。 ○「地域のあり方」の単元では、地域の課題分析とその解決に向けた構想に取り組むことで、主体的に社会参画する態度を養えるよう工夫されている。
日文	○教科書の冒頭で、5つの「地理的な見方・考え方」を働かせる練習ページが設定され、親しみやすいイラストを通して、本文ページの各見開きで「見方・考え方」を働かせながら学習できるように工夫されている。 ○「スキルUP」では、地理的分野の学習に必要な地理的技能を6種類に整理し、生徒の発達段階に応じて地理的技能を系統立てて習得できるように工夫されている。 ○世界の諸地域や日本の諸地域の章（節）の最後にある「議論してみよう」や「持続可能な地域を目指して」のコラムの設置など、教科書全体を通して持続可能な社会について考えることができるよう工夫されている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「もっと知りたい!」「もっと解説」「未来にアクセス」を掲載し、生徒の興味・関心が高められるようになっている。

	○導入・展開・まとめの学習段階に応じて、多彩なQRコードが設けられている。
教出	○世界地誌の学習では、SDGsの17の開発目標と関連する地球的課題を扱っている。 ○デジタルコンテンツが用意され、「動画」や「統計資料」などをウェブサイトで見ることができる。
帝国	○現地の人の「声」では様々な立場の人の考えが紹介されており、地理への興味・関心が喚起されるようになっている。 ○「地理プラス」では、写真などを利用し、学習内容を深く理解できるようにしている。 ○「アクティブ地理」において、地域に見られる課題を考察し、解決への取組みを考えるパフォーマンス課題が設定されている。 ○デジタルコンテンツが用意され、「動画」や「確認問題」等をウェブサイトで見ることができる。
日文	○学習内容の理解を深める「地理＋α」やSDGsについて考える「持続可能な地域をめざして」が設けられている。 ○「ポートフォリオ」「イントロダクションムービー」「確認小テスト」など、ICT機器を活用して利用できる「教科書QRコンテンツ」が設けられ、学習効果が高まるよう工夫されている。

社会（歴史的分野）（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○生徒の発達段階に応じた文量と分かりやすい表現で記述されており、歴史的事象の意味や意義、事象間のつながりが丁寧に説明されている。 ○豊富な情報を詳しく説明しており、「まとめ」では課題解決のために必要となるキーワードをあげている。 ○「探求課題」「学習課題」「探求のステップ」の3段階の問いが、課題解決的な学習を促している。
教出	○必要な内容が端的にまとめられており、資料を読み解くヒントも掲載されている。 ○写真・挿絵・図・表などの資料について、読み解く視点を問いの形で示すなど、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ○見開き単位で資料に通し番号を示すことで、資料と本文との関係を理解しやすくしている。
帝国	○学習課題の解決につながるポイントや資料を読み解くヒントをキャラクターの発言で示している。 ○イラストで生徒の興味関心を引くようにしている。 ○小学校での学習や他分野・他教科と関連のある題材を示し、既習事項を踏まえて、物事を多面的・多角的に捉える足がかりを設けている。
山川	○高校の日本史との接続ができるような丁寧な説明が、本文でされている。
日文	○生徒の発達段階に応じた分量と分かりやすい表現で記述されており、歴史的事象の意味や意義、事象間のつながりが丁寧に説明されている。 ○資料の中に重要語句が取り出されて掲載されており、分かりやすくなっている。 ○各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に取りあげ、歴史の大きな流れを的確におさえられるように、端的にまとめている。
自由社	○学習課題の解決につながるポイントや資料を読み解くヒントをキャラクターの発言で示している。
育鵬社	○「歴史ズームイン」など、本文ページで学習した内容の詳しい記述があり、写真や図版などが適切に掲載されている。
学び舎	○調査できません。
令書	○基本的な知識・技能の習得と発展的学習をバランスよく構成している。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○単元全体を貫く「探求課題」を立てる「導入の活動」、「本文」、1 単元時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」、「探求課題」を解決する「まとめの活動」という流れで、単元が構成されている。

	○他教科との関連や地理などとのつながりがわかりやすいように、マークがついている。
教出	○各単元終わりの「学習のまとめと表現」で、全体の中の日本の歴史をとらえやすくしている。 ○本文がページの中央、資料が周りというようにページが配置されている。
帝国	○「タイムトラベル」は、それぞれの時代の特徴をつかみやすい。 ○本文がページの中央、資料が周りにというようにページが配置されている。
山川	○地理的分野、公民的分野とのつながりを大切にしたコラムが充実している。
日文	○時代を見通す「導入」「本文」、資料をもとに考える「チャレンジ歴史」、学習の幅を広げる「歴史を掘り下げる」、学習した時代の特色を考える「まとめとふり返り」という流れで、単元が構成されている。 ○連携コーナーでは、小学校社会科の学習や地理的分野・公民的分野の学習とのつながりを示し、理解を確かなものにするとともに、習得した知識を活用できるようにしている。 ○構造的に「編（章）の問い」や「節の問い」を設定し、その解答を行うコーナーやページを設けており、生徒が何をどのように学ぶのかを見通しをもって学習に取り組めるようにしている。
自由社	○巻末に重要用語解説のページをつくり、主な時代をまたがって使われる用語を概念として明確化している。
育鵬社	○コラムが豊富で、「なでしこ日本史」など、現代のキーワードを含んだものが掲載されている。
学び舎	○調査できません。
令書	○縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」を用いている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○世界の歴史の中での人権問題やアイヌ文化などについて、丁寧に書かれている。 ○資料の掲載部分を文字などの読み取りに支障のない地色を敷いて区別している。 ○グラフや図などでは、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用している。
教出	○さまざまな人々のくらしや仕事を丁寧に取りあげている。 ○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○アイヌ民族の人たち、在日外国籍の人たちなどの社会的少数者の歴史とそれらに関わる現代の社会的課題を扱い、人権尊重・多文化共生に向けた意識を高められる。
帝国	○古代文明や宗教などについて丁寧に説明しており、差別問題について、しっかりと説明されている。 ○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。また、図版に背景色や囲み線をつけるなどして、図版と本文を区別しやすくするなど、インクルーシブ教育へ配慮した編

	修を行っている。 ○男女のイラストで役割を限定しないなど、ジェンダーの固定観念をもたないように配慮している。
山川	○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。
日文	○現代的な課題について、課題解決に取り組んだ先人を紹介している。また、差別問題について、しっかり説明されている ○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○琉球王国から沖縄へ、アイヌの人々、社会連土の広がり、水平社の創立とさまざまな人権運動など、解決を迫られる国内課題などが、しっかり説明されている。
自由社	○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。
育鵬社	○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。
学び舎	○調査できません。
令書	○フォントや文字の大きさ、レイアウトなど工夫されている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○多くの情報が本文中に含まれている。また、コラムの中にも、多くの情報を盛り込んでいる。 ○他教科・他分野との関連を含めて、社会的事象や現代的諸課題について、より深く理解し、課題解決的な学習ができるよう工夫されている。
教出	○写真が豊富で、特に文化の単位では視覚的にイメージしやすくなっている。 ○「学習のまとめと表現」で、その時代の風潮や時代の特徴をふまえ、生徒が自分なりの考えを持ち、根拠を持って説明・議論できるように工夫されている。 ○難解な用語や補足説明が必要な事項には、丁寧な用語解説を掲載し、確かな学びを支えている。
帝国	○各章の最初にその時代のイメージ画が掲載されており、各時代のようにすが大枠でつかみやすくなっている。 ○他教科・他分野との関連を含めて、社会的事象や現代的課題について、より深く理解し、課題解決的な学習ができるように工夫されている。
山川	○「地域からのアプローチ」「歴史へのアプローチ」などでは、理解が深まるように工夫されている。
日文	○他教科・他分野との関連を含めて、社会的事象や現代的課題について、より深く理解し、課題解決的な学習ができるように工夫されている。 ○「資料活用コーナー」では、必要な情報の読み取りなどの技能を「スキル UP」では社会的事象等について調べ、まとめる活動が示されている。

	○多数設けられた学習活動のうち、生徒どうしの話し合いなど対話的な活動が効果的に取り入れられ、「学び合い」のマークが付せられている。
自由社	○単元の末尾には「チャレンジ」という記事を置き、単元ごとに簡単な知識の整理ができるようにしている。
育鵬社	○情報や読み取った資料をまとめる方法について書かれている。
学び舎	○調査できません。
令書	○基本的内容の列挙にとどまらず、歴史の真理を追い求める姿勢を育成するように、情報量と問いを意識して構成している。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○防災やエネルギーについて、現代社会の課題を考えられるようになっている。 ○「二次元コード」や「Dマーク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 ○歴史学習の終わりに国際連合の「持続可能な開発目標（SDGs）」を取り上げることで、SDGsについて理解し、課題意識を高められる。 ○本文の学習内容をより深めたり、より広げたり、異なる視点でとらえたりできるコラムが掲載されている。
教出	○各章にあるコラムの内容が、発展的な学びにつながりやすい。 ○「二次元コード」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 ○巻頭の「歴史で遊ぼう」では、人物や文化財を中心とした小学校での学習をゲームで楽しみながら振り返る活動を紹介している。
帝国	○「二次元コード」から各種のコンテンツにアクセスして、学習に活用することができる。「用語解説」「巻末年表」のほか「NHK for school」や「リンク集」など、生徒が自ら学習内容を深める際の足がかりとなるコンテンツがある。 ○各所に「資料活用アイコン」「地図帳活用アイコン」を設け、深い学びを得ることができる。 ○コラム「未来に向けて」が掲載されており、発展的な学びがしやすくなっている。
山川	○学習の流れに沿って、本文の中に発展的な内容を多く含んでおり、幅広い学習ができる。
日文	○年表と地図を使って振り返り、発展的な学習ができるとともに、各章にあるコラムの内容が、発展的な学びにつながりやすい。 ○「デジタルマーク」があるところでは、学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。 ○時代像を具体的にイメージできる図版を豊富に掲載し、楽しく、ポイントをおさえたい資料の読み取りができるように、「資料活用コーナー」で活動を提案している。
自由社	○単元の概説的な記述では、歴史の深さを実感させられるように、1ページ、または2ページのスペースをとって、大型のコラム記事を配置している。

育鵬社	○「女性の偉人」を取り上げるなど、様々な切り口で歴史を取り上げ、深められるようにしている。
学び舎	○調査できません。
令書	○幅広い知識を習得するために多くの事実を、科学的根拠・データを用いて説明している。

社会（公民的分野）（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○生徒の発達段階に適した文章の記述や分量となっている。また、重要語句については太字で示されており、読み方の難しい語句についてはふりがながふられている。 さらに、本文外側に難しい語句の説明や、内容を深めるための解説が記されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、本文の内容に関連付けられた効果的な資料が用いられており、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。
教出	○生徒の発達段階に適した文章の記述や分量となっている。また、重要語句については太字で示されており、読み方の難しい語句についてはふりがながふられている。 さらに、本文外側に難しい語句の説明や、内容を深めるための解説が記されている。 ○公民分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項がおさえられているだけでなく、社会の課題や今日的課題が反映された事象が積極的に取りあげられている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、本文の内容に関連付けられた効果的な資料が用いられており、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。
帝国	○生徒の発達段階に適した文章の記述や分量となっている。また、重要語句については太字で示されており、読み方の難しい語句についてはふりがながふられている。 さらに、本文外側に難しい語句の説明や、内容を深めるための解説が記されている。 ○基本的な用語や概念の理解が優先された作りになっている。また、具体的な資料で、社会的事象の背景や因果関係を分かりやすく示している。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、本文の内容に関連付けられた効果的な資料が用いられており、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。
日文	○生徒の発達段階に適した文章の記述や分量となっている。また、重要語句については太字で示されており、読み方の難しい語句についてはふりがながふられている。 さらに、本文外側に難しい語句の説明や、内容を深めるための解説が記されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、本文の内容に関連付けられた効果的な資料が用いられており、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ○各単元が、3つの観点（知識・思考・主体性）を意識した構成となっている。
自由社	○生徒の発達段階に適した文章の記述や分量となっている。また、重要語句については太字で示されており、読み方の難しい語句についてはふりがながふられている。 さらに、本文外側に難しい語句の説明や、内容を深めるための解説が記されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、本文の内容に関連付けられた効果的な資料が用いられており、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。
育鵬社	○生徒の発達段階に適した文章の記述や分量となっている。また、重要語句については太字で示されており、読み方の難しい語句についてはふりがながふられている。 さらに、本文外側に難しい語句の説明や、内容を深めるための解説が記されている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、本文の内容に関連付けられた効果的な資料が用いられており、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○各章「導入の活動」で示されている探求課題にもとづいて学習を進められるよう、節ごとに「探求ステップ」を設定し、課題解決に向けて学習を進め、各章の「まとめの活動」で学習を振り返り、自分の考えをまとめていくという構成になっている。 ○本文見開き2ページが一つの単位となるようまとめられており、見開きの中央に本文が、その周りに資料となる大きな写真や図表が配置されている。その中でも「学習課題」が常に設定されている。
教出	○各章「学習のはじめに」で示されている学習の見通しにもとづいて学習を進められるよう、節ごとに「節の問い」を設定し、課題解決に向けて学習を進め、各章の「学習のまとめと表現」で学習を振り返り、自分の考えをまとめていくという構成になっている。 ○本文見開き2ページが一つの単位となるようまとめられており、見開きの中央に本文が、その周りに資料となる大きな写真や図表が配置されている。また、SDGsの達成目標や他教科（小学校課程も含む）の学習内容との関わりが、マークとともに見開き下部に示されている。
帝国	○各単元の導入「学習の前に」や「章の問い」で示されている課題に基づいて学習を進められるよう、節ごとに「節の問い」を設定し、課題解決に向けて学習を進め、各章の「学習を振り返ろう」で学習を振り返り、探究したいテーマをまとめていくという構成になっている。 ○本文見開き2ページが一つの単位となるようまとめられており、見開きの中央に本文が、その周りに資料となる大きな写真や図表が配置されている。また、各分野や他教科の学習内容との関わりや、各章の導入にある「学習の前に」のイラストに対応する語句が見開き下部に示されている。
日文	○各単元の導入「学習のはじめに」や「章の問い」で示された身近な場面にある学習課題にもとづいて学習を進められるよう、節ごとに「節の問い」を設定し、課題解決に向けて学習を進め、各章の「まとめとふり返し」で学習内容を振り返り、章の問いをまとめていくという構成になっている。 ○本文見開き2ページが一つの単位となるようまとめられており、見開きの中央に本文が、その周りに資料となる大きな写真や図表が配置されている。また、各節の問いが、見開き下部に示されていて、常に意識できる構成になっている。
自由社	○各章のはじめに記された、章を通じた問いから課題をつかんで学習を進め、「学習のまとめと発展」で学習内容を振り返り、自らの考えをまとめていくという構成になっている。 ○本文見開き2ページが一つの単位となるようまとめられており、見開きの中央に本文が、その周りに資料となる大きな写真や図表が配置されている。また、本文の内容をまとめた記述が見開き右下部に示されている。
育鵬社	○各章のはじめや「○○の入り口」で捉えた章全体の学習内容にもとづいて学習を進められるよう、節ごとの課題を設定し、課題解決に向けて学習を進め、「○○のこれから」や「学習のまとめ」で学習内容を振り返るという構成になっている。

	○本文見開き 2 ページが、一つの単位となるようまとめられている。
--	-----------------------------------

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○身近な事例から人権について考えていき、「もっと知りたい!」を活用し、共生社会実現に向けた具体的な実例で考えを深めることができる。 ○「地球社会と私たち」の章を中心に、それぞれの単元で国際協調や国際平和について学び考えられるよう取り扱われている。 ○資料に用いられている「色」も、カラーユニバーサルデザインが採用されているため見やすい。
教出	○第 2 章の中で「人権」という項目をしっかりと設定している。内容も、様々な差別の実態や、それに関連した過去のできごと、そしてそもそもなぜ差別が生まれてしまうのかなどについて考えられる内容となっており、基本的人権に関わって非常に丁寧に掲載されている。 ○「国際社会に生きる私たち」の章を中心に、それぞれの単元で国際協調や国際平和について学び考えられるように取り扱われている。
帝国	○社会の変化に対応した新たな視点として、人工知能 (AI) の進化と人権についての資料などが充実している。 ○「国際社会と私たち」の章を中心に、それぞれの単元で国際協調や国際平和について学び考えられるように取り扱われている。
日文	○ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインが採用されているため、すべての生徒にとって見やすい。 ○個人の尊重の考え方を基本理念として構成されており、人権の尊重、男女共同参画などの基本的な観点が適切に掲載されている。 ○「私たちと国際社会」の章を中心に、それぞれの単元で国際協調や国際平和について学び考えられるように取り扱われている。
自由社	○基本的人権を取り扱う単元では、自由権、平等権、社会権、参政権等について扱われている。また社会の変化に対応した新たな視点として、知る権利、プライバシーの権利、環境権等が「もっと知りたい」のページで取り扱われている。 ○「国際社会に生きる日本」の章を中心に、それぞれの単元で国際協調や国際平和について学び考えられるように取り扱われている。
育鵬社	○基本的人権を取り扱う単元では、自由権、平等権、社会権、参政権等について扱われている。また、社会の変化に対応した新たな視点として、プライバシーの権利、知る権利、環境権等が取り扱われている。 ○「私たちと国際社会の課題」の章を中心に、それぞれの単元で国際協調や国際平和について学び考えられるように取り扱われている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「みんなでチャレンジ」や各見開き最後の「トライ」、各章末の「まとめ活動」が設定されていることによって、復習や、自分やクラスメイトの意見の深化や交流に活用できる。 ○章末の「まとめの活動」は、「確かめよう（ワードチェック）」「ふり返ろう」「深めよう」という項目に分かれており、用途も分かりやすい。
教出	○見開き最後の「表現」では、他者との対話や意見交換を通して、協働的な学びができるよう課題が設定されている。 ○見開きの始めにある「LOOK!」や「学習課題」で社会との関わりを意識した課題が設けられ、課題を解決する学習展開ができるよう工夫されている。 ○「公民の技」「THINK!」では、関連する資料を適切に活用したり、調べた過程や結果を整理し、まとめたりする活動ができるよう工夫されている。 ○各章末の「TRY!」「学習のまとめと表現」では、各章での学習内容を踏まえたうえで、実際の社会の課題について考えを共有できるようになっている。
帝国	○「アクティブ公民AL」では、他者との対話や意見交換を通して、協働的な学びができるよう課題が設定されている。 ○見開きの始めにある「対話」や「学習課題」で社会との関わりを意識した課題が設けられ、課題を解決する学習展開ができるよう工夫されている。 ○「技能をみがく」では、関連する資料を適切に活用したり、調べた過程や結果を整理し、まとめたりする活動ができるよう工夫されている。 ○「アクティブ公民AL」や見開き最後の「説明しよう」、章末の「学習を振り返ろう」では、考察・判断したことを論理的に説明したり、立場・根拠を明確にして議論したりできるよう工夫されている。
日文	○見開きの始めにある資料や「学習課題」で社会との関わりを意識した課題が設けられ、課題を解決する学習展開ができるよう工夫されている。 ○「情報スキルアップ」「確認」「表現」では、関連する資料を適切に活用したり、調べた過程や結果を整理し、まとめたりする活動ができるよう工夫されている。 ○「アクティビティ」や章末の「チャレンジ公民」、「まとめとふり返り」では、考察・判断したことを論理的に説明したり、立場・根拠を明確にして議論したりできるよう工夫されている。
自由社	○個別最適な学びができるよう、「ミニ知識」や「ここがポイント」のコーナーを設け、生徒の理解を促している。また、「アクティブに深めよう」では他者との対話や意見交換を通して、協働的な学びができるよう課題が設定されている。 ○章を通して課題解決的な学習ができるよう工夫されている。また、見開きの始めにある資料や学習課題で社会との関わりを意識した課題が設けられ、課題を解決する学習展開ができるよう工夫されている。 ○「アクティブに深めよう」では、関連する資料を適切に活用したり、調べた過程や結果を整理し、まとめたりする活動ができるよう工夫されている。 ○「やってみよう」や章末の「学習のまとめと発展」では、考察・判断したことを論理

	的に説明したり、立場・根拠を明確にして議論したりできるよう工夫されている。
育鵬社	○「やってみよう」では他者との対話や意見交換を通して、協働的な学びができるよう課題が設定されている。 ○見開きの始めにある資料や「課題」で社会との関わりを意識した課題が設けられ、課題を解決する学習展開ができるよう工夫されている。 ○「資料活用」「確認」では、関連する資料を適切に活用したり、調べた過程や結果を整理し、まとめたりする活動ができるよう工夫されている。 ○「学習を深めよう」や「やってみよう」、見開き最後の「探究」や章末の「○○のこれから」「学習のまとめ」では、考察・判断したことを論理的に説明したり、立場・根拠を明確にして議論したりできるよう工夫されている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○各見開きに「チェック」「トライ」が設定されており、課題の確認や学習のふり返りができるようになっている。 ○章末の「もっと知りたい」などで、単元の学習と関連する社会にみられる課題の解決に向けて主体的に関わることのできる内容が取り扱われている。 ○二次元コードを示し、ワークシートや解説動画などウェブサイト上の情報を活用することができる。
教出	○各見開きに「確認!」「表現!」を設定し、本文、資料の確認や学習内容を説明することで、学習のふり返りができるようになっている。 ○章末の「学習のまとめと表現」のページでは、「HOP!」「STEP! ①②」「JUMP!」を通して、語句の意味や章の問いを考えることで、学習した内容を確実に習得でき、「SDGs」との関連をふまえて内容を深めることができるようになっている。 ○「公民の窓」や「持続可能な社会に向けて」などで、単元の学習と関連する社会にみられる課題の解決に向けて主体的に関わることのできる内容が取り扱われている。 ○二次元コードを示し、語句クイズや解説動画などウェブサイト上の情報を活用することができる。
帝国	○各見開きに「確認しよう」「説明しよう」を設定し、本文、資料の確認や学習内容を説明することで、学習のふり返りができるようになっている。 ○章末の「学習を振り返ろう」のページでは、「節・章の振り返り」「探究学習への準備」を通して、語句の意味や章の問いをまとめることで、学習した内容を確実に習得でき、「SDGs」との関連をふまえて内容を深めることができるようになっている。 ○「未来に向けて」や「公民プラス」などで、単元の学習と関連する社会にみられる課題の解決に向けて主体的に関わることのできる内容が取り扱われている。 ○二次元コードを示し、ワークシートや用語解説などウェブサイト上の情報を活用することができる。
日文	○各見開きに「確認」「表現」を設定し、本文、資料の確認や学習内容を説明することで、学習のふり返りができるようになっている。

	○章末の「まとめとふり返し」のページでは、「語句の意味を確認しよう」「章の問いに答えよう」「章の学習をふり返ろう」を通して、語句の意味や章の問いをまとめることで、学習した内容を確実に習得できるようになっている。 ○「明日に向かって」や「チャレンジ公民」、「公民+α」などで、単元の学習と関連する社会にみられる課題の解決に向けて主体的に関わることのできる内容が取り扱われている。 ○二次元コードを示し、ワークシートや解説動画などウェブサイト上の情報を活用することができる
自由社	○学習項目ごとに「ここがポイント！」を提示することで、学習のふり返りができるようになっている。 ○章末の「学習のまとめと発展」のページでは、「学習のまとめ」「学習の発展」を通して、語句の説明や章の問いを説明することで、学習した内容を確実に習得できるようになっている。 ○「ミニ知識」や「もっと知りたい」などで、単元の学習と関連する社会にみられる課題の解決に向けて主体的に関わることのできる内容が取り扱われている。
育鵬社	○学習項目ごとに「確認」「探究」を設定し、本文、資料の確認や学習内容を説明することで、学習のふり返りができるようになっている。 ○章末の「学習のまとめ」のページでは、語句の説明や章の問いを説明することで、学習した内容を確実に習得できるようになっている。また、「やってみよう」や「学習を深めよう」などで、単元の学習と関連する社会にみられる課題の解決に向けて主体的に関わることのできる内容が取り扱われている。 ○二次元コードを示し、ウェブ上の関連動画やホームページのリンク集を活用することができる。

地図（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○世界地図は、3500 万分の 1、2000 万分の 1、1600 万分の 1 など縮尺を変えて表されている。また、日本地図は、100 万分の 1 の縮尺で表されており、各地方の中心部、主要都市等は縮尺を変えて表されている。 ○日本の一般図の地名などには原則としてふりがなを付し、読み取りやすくしている。 ○都道府県の地図上に、産業、交通、環境、文化・歴史等、各分野の学習内容の情報が豊富に取りあげられている。
帝国	○世界地図は、3500 万分の 1、2000 万分の 1、1600 万分の 1 など縮尺を変えて表されている。また日本地図は、100 万分の 1 の縮尺で表されており、大都市周辺部を中心に、50 万分の 1 などの縮尺で表されている。 ○地図中の地名の漢字には、すべてふりがなが付され、正しく読めるようになっている。 ○学習上重要な「国名」「首都名」には欧文が併記され、国際科・英文科への対応がなされている。 ○都道府県の地図上に、産業、交通、環境、文化・歴史等、各分野の学習内容の情報が豊富に取りあげられている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○おおまかに、「世界全体の概観→世界の各州→日本の各地方→世界や日本全体の資料→統計」の順に構成されている。 ○各分野の学習に活用できるよう、さまざまな資料を取りあげている。例えば、大阪・京都・奈良の歴史と治水について、地形や河川等を地図で確認しながら学ぶ資料がある。 ○図版等について、例えば、日本の自然環境について扱うページでは、天気図やイラスト、写真等が掲載されており、理科の学習内容と関連づけることができるようにしている。
帝国	○世界は州別に、日本は地方別に構成されている。 ○世界の州は、原則として「一般図→鳥瞰図→資料図」という配列で構成されている。日本の地方は原則として「一般図（地方別地図）→一般図（拡大図）→資料図」という配列で構成されている。 ○各分野の学習に活用できるよう、さまざまな資料を取りあげている。例えば、古代～近世の瀬戸内海のおもなできごとについて、年表とともに地図で場所を確認しながら学ぶ資料がある。 ○図版等について、例えば、日本の自然災害・防災について扱うページでは、衛星画像や台風のしくみをイラストで示すなど、理科の学習内容と関連づけることができるようにしている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○人権尊重の観点から、基本となる地図、文章、写真、挿絵、図、資料等が適切に取りあげられている。例えば、巻頭の「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう！」などのページにおいてSDGs、世界の文化・紛争等が取りあげられている。 ○不要な凸凹や飾りがなく、フラットデザインとなっている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。
帝国	○人権尊重の観点から、基本となる地図、文章、写真、挿絵、図、資料等が適切に取りあげられている。例えば、巻頭の特集ページ「地図で考える持続可能な社会」などにおいてSDGs、世界の文化・紛争等が取りあげられている。 ○「地名を手話で話す」コーナーが設けられ、インクルーシブ教育などに配慮されている。 ○読み取りやすくなるように反射を抑えた紙が使用されている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○3種類の質の異なる問いを使い分けた「Bee's eye」のコーナーでは、自ら調べたり考えたりする学習課題が設けられているところがあり、生徒が意見交流を行う活動を通して、協働的な学びが充実するように工夫されている。 ○歴史的分野や公民的分野でも活用できる資料が取り扱われており、課題を追究したり解決したりする学習につなげることができるように工夫されている。
帝国	○要所に配置された問「地図で発見！」から、地図の読み取りなどの地理的技能が身に付けられるように工夫されている。 ○歴史アイコンや公民アイコンが設けられ、歴史的分野や公民的分野の学習と関連付けて学習できるよう工夫されている。 ○修学旅行の事前・事後学習や平和学習などにも活用できるよう、さまざまなイラストが入った親しみのある地図が多数掲載されており、調べ学習がしやすいように工夫されている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「デジタル地球儀」「デジタルマップ」「世界の気候景観」など、社会科学習に興味を持たせ、有効活用できるQRコンテンツが多く掲載されている。 ○「Bee's eye」において自ら調べたり考えたりする問いや、SDGsに代表される現代社会の諸課題に関する資料やアイコンが掲載され、課題を追究・解決する活動が展開

	できるようになっている。
帝国	○「地域見える化 GIS ジオグラフ」「地図の基礎・基本」など、社会科学習に興味を持たせ、有効活用できるQRコンテンツが多く掲載されている。 ○問い「地図で発見！」が数多く設置されている。地図の読み取りだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた学習に活用できる。 ○資料は、地域の特色を適切に理解できる題材が選定されている。そのため、教科書で取り扱われる内容をより深められる。 ○社会科のみならず、修学旅行や校外学習でも活用できる資料や都市図が多数掲載されている。

数学（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、1年では、基本となる正の数・負の数を捉えさせるため、数直線を用い具体的な活動から抽象的な思考へと、段階的に適切に取り扱われている。 ○発達段階を考慮した数学的な活動が取り扱われている。例えば、3年「相似な図形」の導入では、縮小や拡大をした画像が題材として取り扱われている。
大日本	○文章の記述や分量について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。
学図	○写真、挿絵、図、表などの資料が発達段階を考慮したものになっている。例えば、3年「平方根」では根号を持つ数が数直線上のどこにあるかをQRコードから読み取るアニメーションでわかりやすく示されている。
教出	○文章の記述や分量について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ○発達段階を考慮した数学的な活動が取り扱われている。例えば、3年「相似な図形」の導入では、縮小や拡大をした画像が題材として取り扱われている。
啓林館	○「学習のとびら」（導入課題）では、学習を進めれば解決できる身のまわりの問題などを取りあげているため、学ぶ楽しさや意義が実感できるようになっている。 ○「例」や「例題」の直後に「問」も十分に配置し、知識・技能がしっかり身につくようになっている。
数研	○問題解決型の展開を軸として構成されており、項目末には必要に応じて「練習問題」が設けられており、繰り返し練習が必要な問題に取り組ませることができよう工夫されている。
日文	○小節ごとに〈めあて〉を示したり〈例〉に見出しをつけることで、学習内容がつかみやすく、復習しやすくなっている。 ○〈例〉や〈問〉は、小さなステップで段階的に学びを積み上げていけるようになっている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○生徒一人ひとりの特性や学習進度に応じた「個別最適な学び」が実現できるように豊富な問題が設けられており、多様な見方・考え方を自覚できるようになっている。 ○生徒の思考の流れを大切に、疑問が次の学びへとつながる系統性、連続性のある単元構成になっている。 ○活動の時間のための予備時間が確保されている。
大日本	○章の導入となる活動が設定されており、数学的な見方・考え方を働かせて、主体的・対話的に学びを深めることができるようになっている。

	○活動・例・例題が適切に配置されている。また、豊富な問題などで、練習したり、確かめたり、振り返ったりすることができる。
学図	○各領域前の「ふりかえり」で既習事項を確認し、単元の導入では身近な生活の中で出てくる疑問を扱い、数量や図形の性質を見いだし、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。 ○指導内容の目標ごとに「どんなことがわかったかな」という項目をつくり、この授業で抑えるべきポイントが明確に示されている。
教出	○各学年の目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○「学びのマップ」では、これまでに学習したことがどうつながっているのかが書かれており、簡単な学び直しもできるようになっている。
啓林館	○3年間を通して、「A数と式」「B図形」「C関数」「Dデータの活用」の各内容を学習できるように配列されている。 ○数学の学習内容をもとに、系統性に沿った配列になっている。学びのつながりを重視したスパイラルの構成で学びやすく工夫されている。
数研	○数学の学習内容をもとに、系統性に沿った配列になっている。単元の導入では、身近な生活の中で出てくる疑問を扱い、数量や図形の性質を見いだし、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。 ○効果的な指導が行われるよう、本文・写真・挿絵・図・表など適切に配置されている。
日文	○数学の学習内容をもとに、系統性に沿った配列になっている。巻頭、各章、巻末、の構成で内容を配列し、各章と巻末には多彩な問題をバランスよく配置している。 ○各単元前の「次の章を学ぶ前に」で既習事項を確認し、単元の導入では身近な生活の中で出てくる疑問を扱い、数量や図形の性質を見いだし、課題解決的に問題に取り組んでいく構成になっている。

3. 人権の取扱い

発行者	調査事項
東書	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。 ○「防災・安全」「環境」「多様性の尊重」「伝統・文化の尊重」「SDGs」の観点が重視されており、それらに対する課題意識を高め、大切にしようとする態度が養えるようになっている。
大日本	○「異文化理解」「防災教育」「環境保全」など、現代的な様々な課題に対応している。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての生徒にとって扱いやすいよう配慮されている。
学図	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての生徒にとって扱いやすいよう配慮されている。

教出	○文章、写真、挿絵、図、資料など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、すべての生徒にとって扱いやすいよう配慮されている。
啓林館	○文章、写真、挿絵、図など、人権尊重の観点から配慮されている。性別や国籍などによって役割を固定しないなど、性別や人種などに配慮し、互いに協力しながら活動できるようにされている。
数研	○文章、写真、挿絵、図など、人権尊重の観点から配慮されている。例えば、写真や挿絵で様々な多様性が尊重されるよう配慮されている。 ○ユニバーサルデザインの観点から、フォントや配置、色、図などが工夫され、全体にわたって、ユニバーサルデザインフォントを大きめの文字サイズで使用している。
日文	○文章、写真、挿絵、図など、人権尊重の観点から配慮されている。男女平等、多様性社会への配慮としてイラストでは、性別による役割の固定化がないように配慮されている。また、キャラクターは外国にルーツをもつ生徒を登場させたり、女子中学生にスラックスやスカートを履かせたり、多様性を認める社会を表現している。

4. 学び方の工夫

発行者	調査事項
東書	○質の高いデジタルコンテンツが豊富に用意されており、個別最適な学びと協働的な学びを通して、主体的・対話的で深い学びを実現できるようになっている。 ○数学どうしのつながり、身のまわりや社会と数学とのつながりを示すことで、数学の必要性や有用性を生徒が感じられるよう工夫されている。 ○問題解決的な学習を重視し、自立的、協働的に解決することを通して、自他の価値を尊重しながら能力を伸ばし、創造性が培えるようになっている。
大日本	○学習の区切りで、学んだことをふり返ることを促す質問が設けられており、数学の有用性に気づけるように工夫されている。 ○統計的な問題解決の方法である PPDAC サイクルに沿って、数学的活動に取り組めるようになっている。 ○学習の習熟度や個に応じて利用することができるさまざまな問題が設けられている。
学図	○個別最適な学びと協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。 ○各ページの二次元コードからアクセスできる各コンテンツに、生徒一人ひとりの学習状況に応じた問題が用意されている。 ○生徒が数学的な表現力を養い、問題解決の過程を振り返ることができるように吹き出しでの問いかけやアドバイスがされている。
教出	○各ページの二次元コードからアクセスできる各コンテンツに、生徒一人ひとりの学習状況に応じた問題が用意されている。 ○教科書の右に「もどって確認」という項目が設定されており、つまずきやすいこれまでの内容が丁寧に解説されている。

	○学びのプロセスを示しているページでは、問題発見・問題解決の流れが提示されており、課題提示から自分や周りの考えをまとめ問題解決できるように工夫されている。
啓林館	○個別最適な学びと協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。 ○生徒が数学的な表現力を養い、問題解決の過程を振り返ることができるように吹き出しでの問いかけやアドバイスがされている。 ○「まとめよう」で学習したことを整理して記録し、「ステップ方式」の利用問題で学習したことを利用して問題解決をする工夫がされている。
数研	○個別最適な学びと協働的な学びについて、それぞれの学びを一体的に充実させるような課題と学び方が設定されている。また、対話を促し、考えが比較できるよう、多くの場面で2人以上の考え方が提示されている。 ○各ページの二次元コードからアクセスできる各コンテンツに、生徒一人ひとりの学習状況に応じた問題が用意されている。 ○QやTRYを配置し、課題提示から自分や周りの考えをまとめて問題解決できるよう工夫されている。
日文	○「学び合おう」や「ふり返りシート」には、その学習の場面におけるふり返りの観点が明示されている。 ○各章の「数学のたんけん」や巻末の「SDGsと数学」「数学を仕事に生かす」「数学研究室」「プログラムと数学」では、様々な場面で数学が活用されていることを知ることができるになっている。 ○生徒が数学的な表現力を養い、問題解決の過程を振り返ることができるように吹き出しでの問いかけやアドバイスがされている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
東書	○当該学年の学習の土台となる内容をまとめて振り返ることができる「学びのベース」が設定されている。他にも、問題発見・解決の過程を意図した「深い学びのページ」が、設けられている。 ○数学の問題発見・解決の過程を念頭に置き、「見方・考え方」を働かせた「数学的活動」が適切に設定されている。また、「章の問題B」では、全国学力・学習状況調査でも求められる実生活や他教科の学習など様々な場面で知識・技能を活用する力を問う「活用の問題」が用意されている。
大日本	○単元末や巻末に「○章をふり返ろう」「力をのばそう」「補充問題」「総合問題」などが設けられ、学習した内容を確実に習得できるよう配慮されている。 ○数学の世界をさらにひろげる問題や読み物などが設けられている。
学図	○単元末や巻末に「○章のまとめの問題」「深めよう」「学年の復習」などが設けられ、学習した内容を確実に習得できるよう配慮されている。また、「さらなる数学へ」等では、数学的に事象を処理することの良さを社会生活に生かしたりできるように配慮されている。

	○二次元コードのあるページでは、動画やシミュレーションなどのデジタルコンテンツや資料などを見ることができる。
教出	○単元末や巻末に「学習のまとめ」「章の問題」「学びのマップ」「補充問題」などが設けられ、学習した内容を確実に習得できるよう配慮されている。また、「数学の広場」等では、数学的に事象を処理することの良さを社会生活に生かすことができるように配慮されている。 ○「まなびリンク」のあるページでは、動画やシミュレーションなどのデジタルコンテンツや資料などを見ることができる。
啓林館	○動画やスライドなどのQRコンテンツを数多く用意し、生徒一人ひとりの実態にあった最適な学びが実現できるよう配慮している。 ○各単元と巻末に「数学広場」があり、習熟度など個に応じて学ぶことができる工夫がされている。
数研	○二次元コードのあるページでは、動画やシミュレーションなどのデジタルコンテンツや資料などを見ることができる。 ○単元末や巻末の「数学旅行」等では、数学的に事象を処理することの良さを社会生活に生かしたりできるように配慮している。
日文	○単元末や巻末に「基本の問題」「○章の問題」「補充問題」「活用の問題」などが設けられ、学習した内容を確実に習得できるよう配慮されている ○コンテンツを起動しなくても内容を推測しやすいように、デジタルコンテンツを使うと有効な場所に二次元コードをレイアウトし、その上に「見る」「ためす」「身に付ける」「図形のまとめ」など分類を付記している。初見の生徒でも迷わずに扱うことができるインターフェースになっている。

理科（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○生徒の発達段階に応じた文章の分量と分かりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上でフォントを変えて太字にしている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。
大日本	○生徒の発達段階に応じた文章の分量と分かりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上でフォントを変えて太字にしている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。
学図	○生徒の発達段階に応じた文章の分量と分かりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上でフォントを変えて太字にしている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ○単元のはじめの「Can-Do List」で、資質・能力の3観点を明示しており、各章でどのような知識を身につけるのかなどの見通しをもって学習を進めることができるようにしている。 ○各探究の導入として「気づき」が設けられており、生徒が自ら課題意識をもって探究の取り組むために工夫がしてある。
教出	○生徒の発達段階に応じた文章の分量と分かりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上でフォントを変えて太赤字にしている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。
啓林館	○生徒の発達段階に応じた文章の分量と分かりやすい表現で記述されている。また、重要語句については、本文上でフォントを変えて太字にしている。 ○写真、挿絵、図、表などの資料について、生徒の発達段階を考慮した内容となっている。 ○特に、「探Q実験」「探Qシート」では、他者の意見を参考に自分の考えの妥当性を検討する場面が設定されている。対話例が示されている。対話が非常に豊かになるように、非常に配慮されている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○各分野の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○3年間を通して、学習指導要領に示された各内容を学習できるよう配列されている。

	「目次」では、領域ごとに単元が明示されるとともに、領域に応じて単元番号が色分けされ、単元の系統性が確認できるよう示されている。 ○「問題発見」「課題」「仮説」「構想」「観察・実験」「分析・解釈」「検討・改善」「結論」「ふり返し・活用」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」で、振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、他教科との関連について「○○で学ぶこと」で示されている。 ○本文はページ左側に寄せられ、右側に写真や図が多く配置されていて、探究の進め方を視覚的に理解しやすいページ構成となっている。
大日本	○各分野の目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○3年間を通して、学習指導要領に示された各内容を学習できるよう配列されている。もくじでは、領域ごとに単元が明示されるとともに、領域に応じて単元番号が色分けされ、単元の系統性が確認できるよう示されている。 ○「問題発見」「課題」「予想・計画」「観察・実験」「結果」「考察」「解説」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」で、振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、他教科との関連について「つながる」マークで示されている。 ○本文は見開きページ中央に寄せられ、両端や上下に写真や図が多く配置されていて、探究の進め方を視覚的に理解しやすいページ構成となっている。
学図	○各分野の目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○3年間を通して、学習指導要領に示された各内容を学習できるよう配列されている。もくじでは、領域ごとに単元が明示され、単元の系統性が確認できるよう示されている。 ○「気づき」「課題設定」「仮説」「検証計画」「観察・実験」「結果」「考察」「ふり返し」「伝える」「次の気づき」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「学習のまとめ」で、振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、他教科との関連について「つながり」マークで示されている。 ○本文はページ左側に寄せられ、右側に写真や図が多く配置されていて、探究の進め方を視覚的に理解しやすいページ構成となっている。 ○各単元の内容はすべて3章に整理されており、全学年を通じて学習内容の区切りがわかりやすくなっている。
教出	○各分野の目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○3年間を通して、学習指導要領に示された各内容を学習できるよう配列されている。もくじでは、領域ごとに単元が明示されるとともに、領域に応じて単元番号が色分けされ、単元の系統性が確認できるよう示されている。 ○「疑問を見つける」「課題を決める」「仮説を立てる」「計画を立てる」「観察する・実験する」「考察する」「結論を示す」を進め方の基本とした単元構成となっている。ま

	た、単元末の「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」で、振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、国語や算数・数学との関連について「ブリッジ国語、算数」で示されている。 ○本文はページ全体にあり、写真や図は右側や中央に多く配置されていて、探究の進め方を視覚的に理解しやすいページ構成となっている。
啓林館	○各分野の目標や内容をふまえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されている。 ○3年間を通して、学習指導要領に示された各内容を学習できるよう配列されている。もくじでは、領域ごとに単元が明示されるとともに、領域に応じて単元が色分けされ、単元の系統性が確認できるよう示されている。 ○「疑問」「課題」「仮説」「計画」「観察・実験」「結果の整理」「考察」「表現」を進め方の基本とした単元構成となっている。また、単元末の「学習のまとめ」「力だめし」で、振り返ることができるよう取り扱われている。さらに、他教科との関連について「○○と関連」で示されている。 ○単元の学習の最後には「Action」や「Review」があり、習得した知識を活用・復習できるような構造になっている。 ○本文は見開きページ中央に寄せられ、両端に写真や図が多く配置されていて、探究の進め方を視覚的に理解しやすいページ構成となっている。 ○章導入の「つながる学び」で章に関連する小学校の学習内容を振り返ることに特に優れている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、3年の「自然災害と地域のかかわりを学ぶ」やコラムで、日常生活と関連付けて考えることができるよう、配慮されている。 ○生徒の安全の確保や事故防止について、「注意」マークで示すとともに、文字を赤字で示し、危険が回避できるよう配慮されている。また、1年は巻頭、2・3年は巻末の「理科室の決まり」のほか、学年に応じて、巻末に薬品の性質、取り扱う薬品の一覧、薬品の扱い方の注意、実験器具の基本操作が示されている。
大日本	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、3年の「地域の自然災害」やコラムで、日常生活と関連付けて考えることができるよう、配慮されている。

	○生徒の安全の確保や事故防止について、「注意」マークで示し、危険が回避できるよう配慮されている。また、1年は巻頭、2・3年は巻末の「理科室の決まり」のほか、学年に応じて、巻末に薬品の性質、取り扱う薬品の一覧、薬品の扱い方の注意、実験器具の基本操作が示されている。
学図	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、3年「SDGsを意識して話し合おう決めていこう」やコラムで、日常生活と関連付けて考えることができるよう、配慮されている。 ○生徒の安全の確保や事故防止について、「注意！！」マークで示すとともに、文字を赤字で示し、危険が回避できるよう配慮されている。1年の巻末の補充資料「理科室の使い方」のほか、学年に応じて、巻末に薬品の性質、取り扱う薬品の一覧、薬品の扱い方の注意、実験器具の基本操作が示されている。 ○各ページの二次元コードからは、日本語のふりがなやポルトガル語をはじめとする6か国語の翻訳が可能な「ミライ教科書」に接続することで個に対応することができる。
教出	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、3年「自然災害と私たち」やコラムで、日常生活と関連付けて考えることができるよう、配慮されている。 ○生徒の安全の確保や事故防止について、「禁止」「注意」マークで示すとともに、文字を赤字で示し、危険が回避できるよう配慮されている。また、巻頭の「理科室のきまりと応急処置」のほか、学年に応じて、巻末に薬品の性質、取り扱う薬品の一覧、薬品の扱い方の注意、実験器具の基本操作が示されている。
啓林館	○人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。ユニバーサルデザインフォントが採用されており、見やすさや読み間違いが少なくなるように、非常に工夫されている。 ○自然環境への配慮や防災について適切に取り扱われている。例えば、3年「人間の活動と自然環境」やコラムで、日常生活と関連付けて考えることができるよう、配慮されている。 ○生徒の安全の確保や事故防止について、「観察・実験の注意・安全マーク」で示すとともに、文字を赤字で示し、危険が回避できるよう配慮されている。また、各学年の物質領域の前に配置された「実験を正しく安全に進めるために」のほか、学年に応じて、薬品の性質、取り扱う薬品の一覧、薬品の扱い方の注意、実験器具の基本操作が示されている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○動画などのデジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるように、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○巻頭の『『探究』の流れを確認しよう』『教科書の使い方をおさえよう』で探究の過程や進め方を示している。また、科学的に探究する活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方について、多様なキャラクターや生徒のキャラクターの発言でヒントを示すなど工夫されている。 ○「社会につながる科学」「まちなか科学」「私たちのSDGs」などの科学コラムで、学習と関連する身の回りの内容を扱い、日常生活や社会と関連付けて考えることができるよう工夫されている。
大日本	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○動画などのデジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるように、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○巻頭の「理科の学習の進め方」、1年巻末の「探究の進め方」で探究の過程や進め方を示している。また、科学的に探究する活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方について、動物や生徒のキャラクターの発言でヒントを示すなど工夫されている。 ○「くらしの中の理科」「科学のあしあと」などの科学コラムで、学習と関連する身の回りの内容を扱い、日常生活や社会と関連付けて考えることができるよう工夫されている。
学図	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○動画などのデジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるように、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○巻頭の「教科書の使い方」・「理路整然」で探究の過程や進め方を示している。また、科学的に探究する活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方について、キャラクターや先生・生徒のキャラクターの発言や授業ごとの「この時間の見方」「考え方」でヒントを示すなど工夫されている。 ○巻末の「補充資料」・「理路整然」の科学コラムで、学習と関連する身の回りの内容を扱い、日常生活や社会と関連付けて考えることができるよう工夫されている。 ○「なぜ理科を学ぶの？」で、身近な生活との科学の関連を話題にし、理科の有用性を実感させながら生徒の興味・関心が高まるように工夫されている。
教出	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。

	○動画などのデジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるように、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○巻頭「探究の進め方」で探究の過程や進め方を示している。また、科学的に探究する活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方について、生徒のキャラクターの発言でヒントを示すなど工夫されている。 ○「ハローサイエンス」などの科学コラムで、学習と関連する身の回りの内容を扱い、日常生活や社会と関連付けて考えることができるよう工夫されている。
啓林館	○理科の見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されている。 ○動画などのデジタルコンテンツや写真、資料などで一人ひとりに応じた学びを進められるように、対話的な学びの参考となる発言例やイラスト等が示され、個別最適な学びと協働的な学びが一体的に充実するよう工夫されている。 ○「動画でチャレンジ!」という、動画を見て考える問題が用意されている。 ○振り返りシートが二次元コードに用意されている。その振り返りシートは単元前と単元後で一貫した問いが設定されており、見通し・振り返りを同時に行うことができる。 ○巻頭の「探究をはじめよう」「この教科書の使い方」や巻末の「探究の流れと探究のふり返し」「探Qシートの使い方」で探究の過程や進め方を示している。また、科学的に探究する活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方について、実験器具を模したキャラクターや生徒のキャラクターの発言でヒントを示すなど工夫されている。 ○各単元に1つ、特に探求的に行いたい実験を「探Q実験」として設定している。探Qシートは二次元コードからダウンロードできるようになっており、自分でワークシートを作成する教員でも活用できる。 ○「お料理ラボ」「お仕事ラボ」「部活ラボ」等の科学コラムで、学習と関連する身の回りの内容を扱い、日常生活や社会と関連付けて考えることができるよう工夫されている。 ○日常生活や社会との関連の具体例を取り扱っている数が多く、特に優れている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○章末の「学んだことをチェックしよう」や単元末の「学習内容の整理」「確かめ問題」「活用問題」では、学習した内容を振り返ることができるよう配慮されている。また、「じっくり探究」では、学んだことを生かして自然や身の回りの事物・現象などについて科学的に探究することができるよう配慮されている。なお、二次元コードから、観察・実験に関する動画など、学習したことを習得し、理解を深めるために役立つコンテンツを活用することができる。

大日本	○章末の「章末問題」や単元末の「まとめ」「単元末問題」「読解力問題」では、学習した内容を振り返ることができるよう配慮されている。また、「探究活動」では、学んだことを生かして自然や身の回りの事物・現象などについて科学的に探究することができるよう配慮されている。なお、二次元コードから、観察・実験に関する動画など、学習したことを習得し、理解を深めるために役立つコンテンツを活用することができる。
学図	○単元末の「学習のまとめ」や補充資料にある「計算問題」、「思考をさらに深める」では、学習した内容を振り返ることができるよう配慮されている。また、「探究」では、学んだことを生かして自然や身の回りの事物・現象などについて科学的に探究することができるよう配慮されている。なお、二次元コードから、観察・実験に関する動画など、学習したことを習得し、理解を深めるために役立つコンテンツを活用することができる。 ○巻頭の「なぜ理科を学ぶの？」では、科学的な見方・考え方が生活の中でどのように役立つかという学習の意義が、マンガ形式でわかりやすく解説されている。
教出	○章末の「要点をチェック」や単元末の「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」、巻末の「学年末総合問題」では、学習した内容を振り返ることができるよう配慮されている。また、「疑問から探究してみよう」では、学んだことを生かして自然や身の回りの事物・現象などについて科学的に探究することができるよう配慮されている。なお、二次元コードから、観察・実験に関する動画など、学習したことを習得し、理解を深めるために役立つコンテンツを活用することができる。
啓林館	○章末の「Reviewふり返ろう」や単元末の「学習のまとめ」「力だめし」、さらには巻末に「学年末総合問題」では、学習した内容を振り返ることができるよう配慮されている。また、「みんなで探Qクラブ」では、学んだことを生かして自然や身の回りの事物・現象などについて科学的に探究することができるよう配慮されている。なお、二次元コードから、観察・実験に関する動画など、学習したことを習得し、理解を深めるために役立つコンテンツを活用することができる。 ○観察・実験を通した科学的に探究する学習活動を取り扱っている数が多く、特に優れている。

音楽（一般）（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
教 出	○各学年とも生徒の発達段階を考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。 ○歌唱教材は、1年次において斉唱や同声2部合唱のものを多く取り入れ生徒が活動に親しみやすくなっており、その後混声2部合唱や混声3部合唱へと段階を追って合唱に取り組めるようになっているとともに、変声期の生徒にも配慮した内容になっている。また、創作においても、主に言葉の特徴を捉えて旋律を作ったり音楽を構成したりする内容を始めとし、段階を追って創作できるような内容になっている。コンピューターを取り入れた創作も紹介されている。 ○鑑賞教材においては、各教材に付された活動のねらいを生徒が意識して、段階を追って学習が進められるような内容になっている。また、二次元コードから演奏を聴くことができ、学習の際に参考にすることができるようになっている。 ○教材見開きの主に右ページ下部に楽典が示されており、教材ごとに確認することができる。また、「音楽を形づくっている要素」や楽典が一覧できるページも準備され、学んだ内容について振り返りができるなど、無理なく学習が進められるようになっている。
教 芸	○生徒の発達段階を考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。 ○歌唱教材は、1年次において斉唱や同声2部合唱のものを多く取り入れ生徒が活動に親しみやすくなっており、その後混声2部合唱や混声3部合唱へと段階を追って合唱に取り組めるようになっているとともに、変声期の生徒にも配慮したより詳しい内容になっている。また、創作においても、主に音のつながり方の特徴を生かして旋律を作ったり音楽を構成したりする内容を始めとし、段階を追って創作できるような内容になっている。 ○鑑賞教材においては、各教材に付された活動のねらいを生徒が意識して、段階を追って学習が進められるような内容になっている。また、技能の実演が可能な内容もあり、1つの題材の中に複数の観点で効果的に学習できるよう工夫されている。さらに、二次元コードから演奏を聴くことができ、学習の際に参考にすることができるようになっている。 ○教材見開きの主に左ページ下部には「音楽を形づくっている要素」が、右ページ上部に楽典が示されており、教材ごとに確認することができる。また、「音楽を形づくっている要素」や楽典が一覧できるページも準備され、学んだ内容について振り返りができるなど、無理なく学習が進められるようになっている。特に新出時に用語や記号などを大きく取り上げているので理解しやすい。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
教出	○各学年の目標や内容に対応した教材が系統性をもって組織・配列されている。また、教科等横断的な視点をもって取り組めるような教材が取り扱われている。 ○見開き左に学習目標が示されており、教材ごとに活動のねらいが示されている。また、音符や休符、記号等の楽典を紹介する箇所が統一されていることに加え、教材によりめあて等の背景色を変え、歌唱、創作、鑑賞のどの内容を学習するのかがわかりやすくなっている。
教芸	○各学年の目標や内容に対応した教材が系統性をもって組織・配列され、学年が進むにつれ、発展し深まっている。また、教科横断的な視点をもって取り組めるような教材が取り扱われている。 ○見開き左に学習目標が示されており、教材ごとに活動のねらいが示されている。また、音符や休符、記号等の楽典を紹介する箇所が統一されていることに加え、教材によりめあて等の背景色を変え、歌唱、創作、鑑賞のどの内容を学習するのかがよりわかりやすくなっている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
教出	○人権を尊重する観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料など適切であり、生徒が多様性を意識できるよう配慮がなされている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや写真、イラスト、図など配慮されている。 ○ユニバーサルデザインフォントを細部にわたって使用し、配慮されている。
教芸	○人権を尊重する観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料など適切であり、生徒が多様性を意識できるよう配慮がなされている。 ○他者を尊重し、季節や自然、故郷を大切に思う心を育てることのできる教材が取り上げられている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや写真、イラスト、図など配慮されている。 ○ユニバーサルデザインフォントを大部分に使用し、より学習しやすくなっている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
教出	○生徒の興味・関心に応じて活用できる資料や、歌唱のパート練習、創作のツール等が豊富に掲載されており、個での学習や、協働して学習を進められるよう工夫されている。また、教材に付された二次元コードを読み取ることで、音源や映像を視聴したり、ワークシートをダウンロードしたりすることができ、生徒個人が主体的に学習できるような工夫もされている。

	○歌唱教材と鑑賞教材において、進んで話し合い学ぶために「Active!」のコーナーが設けられており、ワークシートの指示文やキャラクターのコメントなどを参考に、音楽的な見方・考え方を働かせ学習を深めていけるような工夫がされている。また、創作教材においては、「音のスケッチ」のコーナーで手順がわかりやすく示されており、学習を深められるような工夫もされている。 ○「プレゼンをしよう」では、音楽を形づくっている要素に着目して楽曲を聴き、その良さを発表する活動が取り入れられるなど、言語活動を進めるための工夫がされている。
教芸	○生徒の興味・関心に応じて活用できる資料や、歌唱のパート練習、創作のツール等が豊富に掲載されており、個での学習や、協働して学習を進められるよう工夫されている。また、教材に付された二次元コードを読み取ることで、音源や映像を視聴したり、ワークシートをダウンロードしたりすることができ、生徒個人が主体的に学習できるような工夫もされている。 ○歌唱教材と鑑賞教材において、進んで話し合い学ぶために「学びのコンパス」のコーナーが設けられており、ワークシートの指示文やキャラクターのコメントなどを参考に、音楽的な見方・考え方を働かせ学習を深めていけるような工夫がされている。また、創作教材においては、「Let's Create!」等のコーナーで手順がわかりやすく示されており、学習をより深められるような工夫もされている。 ○「音楽の学びを振り返ろう」では、音楽を形づくっている要素に着目して楽曲を聴き、その良さを発表する活動が取り入れられるなど、言語活動を進めるための工夫がされている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発行者	調査事項
教出	○学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、生活や社会の中の音や音楽と主体的に関わったりして、豊かな生活を創造する態度を養うことができるよう配慮されている。例えば、各教科書の巻末には、楽典が一覧できるようになっており、学習内容を確実に習得できるよう配慮されている。また、各教科書の巻頭に、「With My Heart」として音楽家からのメッセージを掲載することにより、音楽と主体的に関わることができるよう配慮されている。
教芸	○学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、生活や社会の中の音や音楽と主体的に関わったりして、豊かな生活を創造する態度を養うことができるよう配慮されている。例えば、各教科書の巻末には、「音楽の約束」として楽典が一覧できるようになっており、学習内容を確実に習得できるよう配慮されている。また、各教科書の巻頭に、著名人からのメッセージを掲載することにより、音楽と主体的に関わることができるよう配慮されている。 ○いろいろな音楽との出会いの機会を広げられるよう、さまざまなジャンルの代表的な作品や作曲者が紹介されている。

音楽（器楽合奏）（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
教出	○生徒の発達段階を考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。 ○どの楽器においても写真や説明文を多数使用することで、楽器についての知識を深めるとともに、基礎的な奏法が確実に身につけられるよう考慮されており、段階を追って学習が進められるようになっている。また、「Let's Play」は初級から中級向けのアンサンブル、「Let's Try」では、より発展的な合奏を中心に構成されている。 ○「聴いてみよう」のコーナーで鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器や音楽（一般）と関連付けて学習できるよう考慮されている。 ○音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わせながら理解し活用できるよう、学習目標と関連付けて適切に取り扱われている。
教芸	○生徒の発達段階を非常に考慮した内容になっており、無理なく学習が進められるようになっている。 ○どの楽器においても写真や説明文を多数使用することで、楽器についての知識を深めるとともに、基礎的な奏法が確実に身につけられるよう考慮されており、段階を追って学習を進められるようになっている。また、「アンサンブル」では、楽器の種類やリズム伴奏が工夫できるよう構成され、魅力的なアンサンブル曲がより多く掲載されている。 ○学習する楽器（特にアルトリコーダー、ギター、和楽器）の初めに、「～の演奏を聴こう」として鑑賞教材が紹介されており、学習する楽器や音楽（一般）と関連付けて学習できるよう、より考慮されている。 ○音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わせながら理解し活用できるよう、学習目標と関連付けてより適切に取り扱われている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
教出	○「演奏の仕方を身につけよう」では、まず、リコーダーの学習に始まり、管楽器、弦楽器、打楽器の順に楽器の基礎的な知識や奏法が身に付けられるようまとめられ、「合わせて演奏しよう」へと系統的に配列されている。 ○各学年の目標や内容に対応した活動のねらいが教材ごとに示されており、ねらいに焦点化して学習が進められるようにするとともに、「深めてみよう」で習得した内容をより深めることができるよう系統性、発展性をもって組織・配列されている。また、背景色を楽器ごとに統一することにより、どの楽器を学習しているのかわかりやすくな

	っている。
教芸	○リコーダーの学習に始まり、弦楽器、打楽器、管楽器の順に楽器の基礎的な知識や奏法が身に付けられるようまとめられ、「アンサンブル」「楽器で Melody」へと系統的に配列されている。また、「楽器を知ろう」や「こぼれ話」では、楽器の背景にある文化や伝統などを知ることによって、より学びが深められるよう配慮されている。 ○各学年の目標や内容に対応した活動のねらいが教材ごとに示されており、ねらいに焦点化して学習が進められるようにするとともに、「アンサンブルセミナー」、「学びのコンパス」で習得した内容をより深めることができるよう系統性、発展性をもって組織・配列されている。また、背景色を楽器ごとに統一することにより、どの楽器を学習しているかよりわかりやすくなっている。 ○豊能郡内の中学校で取り組んでいるアルトリコーダーやギター・和楽器に加え、打楽器を含む写真や図が多数用いられ、また、各楽器の特徴や奏法が具体的に、より詳しくていねいに解説されている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
教出	○人権尊重の観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料など適切であり、生徒が多様性を意識できるように配慮されている。 ○すべての生徒にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや写真、イラスト、図など、細部にわたり配慮されている。
教芸	○人権尊重の観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料など適切であり、生徒が多様性を意識できるように配慮されている。 ○すべての生徒にとって使いやすくよりわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などより配慮されている。 ○楽譜を含めた大部分のページで、ユニバーサルデザインフォントが使用されており、だれもが読みやすい文章や楽譜になっている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
教出	○教材に付された二次元コードを読み取ることで、楽器の奏法等の学習に対応した動画資料を視聴することができ、生徒個人が主体的に学習できるような工夫がされている。また、「音のスケッチ」等では、個人やグループで創意工夫をしながら表現できるよう配慮されている。 ○各教材に学習のポイントが示され、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動が促されるよう工夫されている。例えば、「表現の仕方を調べてみよう」では、考えを比較しながら整理したうえで「話し合おう」で共有することにより、生徒が一連の過程で思考、判断し、表現できるよう工夫されている。 ○言語活動が充実するよう工夫されている。例えば、「吹く楽器の仲間たち」、「弾く楽

	器の仲間たち」では、世界のさまざまな楽器について比較して調べたことをワークシートにまとめたり、仲間と交流したりすることができるようになっている。
教芸	○教材に付された二次元コードを読み取ることで、楽器の奏法等の学習に対応した動画資料を視聴することができ、生徒個人が主体的に学習できるような工夫がされている。また、「My Melody」等では、個人やグループで創意工夫をしながら表現できるようより配慮されている。特に、前回一新された箏による「創作」では、学習を深められる内容になっている。 ○各教材に学習のポイントが示され、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動が促されるよう工夫されている。例えば、「アンサンブル」では、考えるポイントの記述があり、それに沿って学習することにより、生徒が一連の過程で思考、判断し、表現できるよう工夫されている。 ○言語活動が充実するよう工夫されている。例えば、「学びのコンパス」では、知覚・感受したことを言葉や音楽で表現していけるよう、キャラクターのコメントや楽譜例が示されている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
教出	○学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、生活や社会の中の音や音楽と主体的に関わったりして、豊かな生活を創造する態度を養うことができるよう配慮されている。例えば、巻末には「打楽器」、「リコーダーの運指表」、「ギター&キーボードコード表」や「いろいろな用語、記号」のコーナーがあり、学習した内容を確実に習得できるよう配慮されている。また、冒頭の「LET'S PLAY MUSIC!」で、教科書に掲載されている楽器を紹介し、興味を持つことができるよう配慮されている。
教芸	○学習した内容を確実に習得できるよう補充したり、生活や社会の中の音や音楽と主体的に関わったりして、豊かな生活を創造する態度を養うことができるよう配慮されている。例えば、巻末には「リコーダーの運指表」、「ギター/キーボードコード表」、「楽器の図鑑」や「音楽の約束」のコーナーがあり、学習した内容を確実に習得できるよう配慮されている。特に、「楽器の図鑑」では、楽器の種類が多く、器楽の学習をサポートしやすい資料(内容)になっている。また、冒頭の「音楽って何だろう?」で、世界各国で使用されている楽器を紹介し、興味を持つことができるようより配慮されている。 ○「リコーダーの種類」では、大きさがわかりやすく、音域の比較もできるよう工夫されている。

美術（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	○主体的に各題材の学習に取り組むことができるよう、解説や学習方法、資料などが掲載されている。また、学習の各段階に応じた問いかけや学習のポイントを示し、主体的な学びができるように工夫されている。 ○生徒の発達段階に応じて表現の活動の内容がバランスよく取りあげられている。例えば、1年「スケッチブックから広がる」で学んだ内容を生かして、2・3年「私が見つめた風景」では、絵画等を題材に表現方法を工夫するなど、発達段階に応じて学習が進められるような内容になっている。また、鑑賞の活動の2・3年「印象派の表現の広がり」では印象派以前の絵画と比べて鑑賞したり、その違いについて話し合ったりするなど、発達段階に応じて学習が進められるような内容になっている。 ○伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を取り扱っているページの割合を多くし、生徒がより身近に美術を感じることができるよう工夫されている。
光村	○「みんなの工夫」をはじめ、生徒の試行錯誤の様子や制作過程を詳しく示すことで、「自分ならどういう作品をつくりたいか」と主体的に考えられるよう工夫されている。 ○生徒の発達段階に応じて表現の活動の内容がバランスよく取りあげられている。例えば、1年「心ひかれるこの風景」で学んだ内容を生かして、2・3年「心の中の風景を表す」では絵画等を題材に表現方法を工夫するなど、発達段階に応じて学習が進められるような内容になっている。また鑑賞の活動の内容では、例えば、2・3年「日本の絵画」を鑑賞の中心に据えた特集では五つのキーワードでその特徴について鑑賞したり、話し合ったりするなど、発達段階に応じて学習が進められるような内容になっている。
日文	○題材は、多様な生徒が興味・関心を持つことができるように、さまざまな発想のきっかけから主体的に活動が取り組めるように工夫されている。 ○生徒の発達段階に応じて表現の活動の内容がバランスよく取りあげられている。例えば、1年「なぜか気になる情景」で学んだ内容を生かして、2・3年上「自由な視点で風景を見つめる」では写真等を題材に表現方法を工夫するなど、発達段階に応じて学習が進められるような内容になっている。また、鑑賞の活動の1年「屏風、美のしかけ」では、構図、余白、折による空間や奥行きなどに着目し、その効果について鑑賞したり、話し合ったりするなど、発達段階に応じて学習が進められるような内容になっている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	○1年、2・3年の2冊で構成されており、それぞれの学年の目標をふまえた題材が設定されている。また、「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学びの資料」の順で構成されている。美術の用語やSDGsとの関連が示され、教科横断的な視点で効果的な指導が行われるよう配慮されている。 ○美術1の巻頭に「図画工作から美術へ」のページを設定し、これから始まる美術の学習の全体構成を俯瞰し、見通しをもって視覚的に捉えることができるように構成されている。 ○現代において注目されている新たな表現活動や造形活動を展開する作家やデザイナーを取りあげている。また、その作品を通して、自分自身との関わりについて考えられるように構成されている。
光村	○1年、2・3年、別冊資料の3冊で構成されており、それぞれの学年の目標をふまえた題材が設定されている。また「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」の順で構成されている。ページ下部等にマークで他教科とのつながりや、SDGsとの関連が示され、教科横断的な視点で効果的な指導が行われるよう配慮されている。 ○全体を通して、効果的な指導が行われるよう構成されている。主に題材を4ページで構成し、導入からふり返りまでの授業展開が意識されている。テーマの横に目標を配置し、写真や作品等が適宜配置されている。また、ページ右部に関連する資料のページを示している。
日文	○1年、2・3年上、2・3年下の3冊で構成されており、それぞれの学年の目標をふまえた題材が設定されている。また、「絵や彫刻など」「デザインや工芸など」「学習を支える資料」の順で構成されている。ページ下部に道徳とのつながりや、SDGsとの関連が示され、教科横断的な視点で効果的な指導が行われるよう配慮されている。 ○美術1では新しい見方や感じ方、美術2・3上では、知的理解の深まり、美術2・3下では、さらに自己を掘り下げて考えていくなど、発達の段階に応じた学びの設定をしている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	○人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取りあげられている。例えば、鑑賞のページで「ゲルニカ」「アイヌの民族衣装」が取り扱われている。また、多くの生徒作品を掲載するとともに「作者のことば」も提示し、様々な個性や特性があることを学べるように工夫されている。また、福祉と美術の関わりを学ぶページが設定されており、インクルーシブ教育に対応できるように配慮されている。 ○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などに配慮されている。例えば、カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚特性の有無に関わらず等しく学べるように配慮されている。

	○コートマット紙を採用し、作品の見え方にこだわり、作家の意図が伝わりやすいよう配慮されている。また、コートマット紙は光による反射が少なく、特に鑑賞時などにはストレスを軽減し、より集中しやすいように配慮されている。
光村	○人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取りあげられている。例えば、鑑賞のページで「ゲルニカ」「ヒロシマ・アピールズ」が取り扱われている。また、いじめ防止や差別撤廃など、人権をテーマに制作した作品が積極的に掲載されている。写真や動画を撮影する活動や、端末の活用などの解説では、他者の著作権や肖像権を侵害することのないよう、注意を促す文章が注意喚起のマークとともにわかりやすく示されている。 ○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などに配慮されている。例えば、カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚特性の有無に関わらず等しく学べるように配慮されている。 ○光沢のある紙を採用し、作品の見え方にこだわり、作家の意図が伝わりやすいよう配慮されている。
日文	○人権尊重の観点から、作品例、文章、挿絵、図、資料などが適切に取りあげられている。例えば、鑑賞のページで「ゲルニカ」「ヒロシマ・アピールズ」が取り扱われている。また、作品の掲載においては、外国の生徒や作家作品、アール・ブリュットの作品等が取り上げられ、教科書全体を通して多様性を尊重しながら学ぶことができるように工夫されている。 ○すべての生徒にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などに配慮されている。例えば、カラーユニバーサルデザインの観点から、色覚特性の有無に関わらず等しく学べるように配慮されている。 ○光沢のある紙を採用し、作品の見え方にこだわり、作家の意図が伝わりやすいよう配慮されている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	○各題材の最初に提示する主文において、「造形的な見方・考え方」を働かせ、深い学びに繋がるものとして、その学習の意味がわかりやすく提示されている。また、さまざまな作家やデザイナーなどの言葉も紹介し、「造形的な見方・考え方」を深められるように工夫されている。題材ごとにキャラクターが具体的な学習のポイントを示すことで、鑑賞や表現の際に感じたことや考えたことを言語化したり、グループで対話したりすることを通して、造形的な見方、考え方を広げることができるよう工夫されている。 ○技法動画等のデジタルコンテンツを活用し、個別最適な学びができるように工夫されている。また、ペアやグループで鑑賞したり、発想、構想につながる写真を示したりする等、協働的な学びを促している。 ○1年、2・3年の2冊の表紙において、取り上げられている作品の質感を擬似的に再現し、美術に対する興味・関心を視覚だけでなく、触覚でも楽しむことができるよ

	う工夫されている。
光村	○全ての題材で発達段階に応じて知識が深まるように題材が配列されており、中学校美術で学ぶ知識や技能の内容を、資料にまとめ、生徒が必要に応じて参照できるよう工夫されている。また、題材ごとに「POINT」で具体的な問いを示すことで、鑑賞や表現の際に感じたことや考えたことを言語化したり、グループで対話したりすることを通して、造形的な見方、考え方を広げることができるよう工夫されている。 ○技法動画等のデジタルコンテンツを活用し、個別最適な学びができるように工夫されている。また、ペアやグループで鑑賞したり、発想、構想につながる写真を示したりする等、協働的な学びを促している。 ○2・3年の「日本の絵画を楽しむ」のページでは、和紙の様な風合いの用紙に日本の絵画の観賞用作品が掲載されており、より本物に近い感覚を味わいながら鑑賞ができるよう工夫されている。
日文	○「学びの目標」を題材の入口部分に示すことで、生徒が見通しを持って活動できるように工夫がされている。また、題材は、多様な生徒が興味・関心を持つことができるように、さまざまな発想のきっかけから主体的に活動が取り組めるように工夫されている。題材ごとに「鑑賞の入り口」で具体的な問いを示すことで、鑑賞や表現の際に感じたことや考えたことを言語化したり、グループで対話したりすることを通して、造形的な見方、考え方を広げることができるよう工夫されている。 ○技法動画等のデジタルコンテンツを活用し、個別最適な学びができるように工夫されている。また、ペアやグループで鑑賞したり、発想、構想につながる写真を示したりする等、協働的な学びを促している。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
開隆堂	○巻末資料で、材料や用具、表現方法の特性などを取りあげ、学習した内容を確実に習得できるよう補充している。また、現代において注目されている新たな表現活動や造形活動を展開する作家やデザイナーを取り上げるとともに、中学生が身近に感じる美術や美術文化を取り上げ、これからの社会と美術、そして自分自身との関わりについて考えられるように構成されている。
光村	○別冊資料で、材料や用具、表現方法の特性などを取りあげ、学習した内容を確実に習得できるよう補充している。また平和や人権問題、環境や地域文化・伝統文化、多様性への配慮など、現代的な諸課題に対応する題材を多く掲載することで、生徒の持続可能な社会への関心や、主体的な取り組みを促すよう配慮されている。関連する題材のページ下には17の目標の番号を示し、生徒がSDGsとの関連を意識して学べるように配慮されている。
日文	○巻末資料で、材料や用具、表現方法の特性などを取りあげ、学習した内容を確実に習得できるよう補充している。また、題材ページや特設ページ、学びを支える資料において、他教科での学習を生かしたり、関連付けたりした題材や事例を掲載し、教科等横断的な学習ができるように配慮されている。

保健体育（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○文章はわかりやすく、分量は決して多すぎず簡潔にまとめられている。 ○見開き2ページの中の参考資料が多く、活用しやすい。また、章末資料も充実しており、学習の終わりに理解を深められる内容となっている。
大日本	○文章はわかりやすく、簡潔にまとめられている。分量も多くなく、資料と半々くらいのバランスである。 ○特に教科書の始めに口絵が多く入っており、生徒にとっても教員にとってもこれからの学習の予測を立てることができる。
大修館	○文章はわかりやすく、簡潔に記述されている。分量とともに生徒の発達段階を考慮した内容になっている。 ○随所に写真やグラフ、絵などの資料が添付されている。
学研	○文章はわかりやすく、簡潔にまとめられている。分量も資料と文章のバランスが取れている。 ○見開き2ページに対して4～5つ資料があり生徒の発達段階に応じた内容となっている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○各学年で保健編、体育編と並んでいる。また、関連した単元にリンクしているところをのページが示されており、他教科とのつながりも示されている。 ○ページの先頭に本時の課題が示され、学習の見通しが立てやすい。また、主に本文は左端、資料は右端に配置されている。
大日本	○各学年で体育編、保健編と並んでいる。また、別ページとのリンクだけでなく、他教科とのつながりも示されている。 ○冒頭に学習のねらいが複数示されており、主に見開きの左ページに文章、右ページに資料が載せられていることが多い。
大修館	○各学年で体育編、保健編と並んでいる。また、「関連」マーク、「他教科」マークで内容とリンクしていることを示している。 ○各ページの冒頭に課題が示されておりそれが統一されている。また、本文は見開き2ページの中央に書かれており、その周りに資料が添付されている。
学研	○各学年で体育編、保健編と並んでいる。また、「関連」マークで教科内の関連した内容のページや他教科とのつながりも示されている。 ○冒頭に学習の課題が複数示されており、理解する内容と思考する内容とが分けられている。また、主に本文は左端、資料は右端に配置されている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○今日的な課題である、多様性、性の多様性、SDGs などについて取りあげられている。特に性の多様性については、デジタルコンテンツが用いられている。 ○フォント、配色ともにユニバーサルデザインに配慮した紙面になっている。また、教育漢字以外の常用漢字には、全てふりがなが付けられ生徒の学びを保障している。
大日本	○現代的な課題について考えるページがあり、例えば個人差、性の多様性や情報リテラシーについてなどが取りあげられている。 ○本文と資料がページで分けられていることから、目線移動が少なくなる工夫がされている。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントが使用されている。
大修館	○現代的な課題についての特集資料があり、例えば性の多様性やいじめや人間関係などの悩みに対処する方法についてが取りあげられている。 ○ユニバーサルデザインフォントが採用され、イラストや写真の色づかい、マークや囲みのデザインなどに留意されている。
学研	○現代の諸課題について掲載されているページもあり、例えば性の多様性やアダプトスポーツについて取りあげている。 ○ユニバーサルデザインフォントが用いられている他、レイアウトや図の配色などにも工夫がされている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○個人で学習するときでも学習内容がわかりやすいように小見出しに通し番号がつけられ、学習順序が迷わないよう工夫されている。また、生徒自ら興味・関心が持てるよう、動画やシミュレーション教材、デジタルコンテンツの活用ができるとともに、他者に伝える活動を提示することで対話的な学習となるよう促している。 ○章の始めに小学校で学習したことと高校で学習することが提示されており、中学校で学習する範囲を最初に示すことができる。また、「見つける」や「学習課題」を通して課題を見つけ、生徒自身が自分のこととして、合理的に解決する学習活動ができるよう工夫されている。 ○「活用する」では、学習した内容を踏まえてグループで意見を交流する活動を設け、言語活動が行えるように工夫されている。
大日本	○すべてのページの構成が統一されており、スムーズに授業を進めることができる。また、生徒が関心を持てるようなデジタルコンテンツが充実している。 ○「学習のねらい」や「つかもう」で課題を見つけ、「やってみよう・話してみよう・調べてみよう」の中で生徒自身が自分ごととして捉え、課題解決に向かっていける形式になっている。

	○「話し合ってみよう」や「活用して深めよう」では話し合い活動が行えるようテーマが提示され、言語活動が充実できるよう工夫されている。主に「活用する」ではグループで話し合うようなことが提示されていて、言語活動を充実させやすい。
大修館	○すべてのページが同じように構成されており、学習のリズムを掴みやすい。また、動画やワークシートなどのデジタルコンテンツを活用することで、生徒の興味・関心に応じた学びを展開することができる。教科書の使い方や保健体育の学び方も明記されている。 ○「課題をつかむ」では学習課題に目を向け、「身につける、考える」「まとめる、振り返る」を順に取り組むことで、課題を合理的に解決できるよう工夫されている。 ○「課題をつかむ」ではグループで話し合う課題があり、「学習のまとめ」でも意見を交流する場が設定されており、言語活動が充実するよう工夫されている。
学研	○「ウォームアップ」や「とりくメーカー」などを通して、生徒個人が自分ごととして参加できるように工夫されており、本文、資料だけでなく二次元コードを活用した動画などが生徒の興味・関心を引き立てる。また、「協働」マークが用いられており、対話的な学びとなるよう工夫されている。 ○小学校での学習や日常での経験をもとに「ウォームアップ」で学習課題を見つけ、本文と資料、「エクササイズ」「学びを生かす」と過程を踏む中で、生徒が自分ごととして捉え、合理的な解決に向けた学習となるよう工夫されている。 ○「学びを生かす」では学習した内容を活用して学習の終わりにグループで意見を交流する時間を設け、言語活動が行われるように工夫されている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○章末資料では、章内の学習をさらに探求した内容であり、QRコンテンツでは学びを振り返り、定着させるよう工夫されている。また、「巻末スキルブック」では、日常的に活用できる内容が取り扱われている。
大日本	○「中学校保健体育WEBプラス」では、例題に多く触れ、学習の定着を図ることができる。またウェブコンテンツを通して動画や資料を見ることができ、生活に応用できるような内容となっている。
大修館	○章末には特集資料が組まれ、章のまとめなどで学習を振り返ったりすることができる。また、「ほり下げる」や「コラム」などで生活に応用できる内容が取り扱われており、二次元コードを活用して動画や資料も見ることができる。
学研	○「章のまとめ」や「学習の終わりに」などで学習を振り返ることができ、二次元コードより見られる動画や資料を用いて、より学びを深めることができる。

技術・家庭（技術分野）（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○問題解決の過程が分かりやすく示されており、主体的・対話的で深い学びを通して、幅広い知識と教養を身に付けることができるように配慮されている。 ○「SDGs と Technology」では、持続可能な開発目標について技術が果たしている重要な役割をわかりやすく紹介し、持続可能な社会の構築に寄与する態度が養えるように配慮されている。
教図	○学習指導要領に示される目標に対応した系統的な配列になっており、技術分野の見方・考え方を働かせて問題解決能力が身につく構成になっている。 ○技術による問題解決の流れを丁寧に説明することにより、生徒が自ら問題解決に取り組むことができるよう工夫されている。
開隆堂	○各内容で共通して、社会における技術に気付き、基礎的・基本的な知識および技術の習得を通して、社会や環境と技術とのかかわりについて理解を深められるように工夫されている。 ○各学習項目では、学習課題を設けて生徒に問題意識をもたせ、「CHECK」で振り返ることで、自ら問題を解決しようとする能力を養うように工夫されている。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○A～Dの各内容において、「生活や社会を支える技術」「技術による問題解決」「社会の発展と技術」の3つの構成に統一し、技術の見方・考え方を働かせて問題解決能力が身につく構成になっている。 ○効果的な指導が行われるよう、見開きで学習の流れが確認できるように示されるなど、本文・写真・挿絵・図・表・二次元コードなどが適切に配置されている。また、他教科や小学校での学習と関連している箇所を随所にマークで示している。ページ下部の「技術の工夫」では、用語解説や技術の工夫が紹介されている。
教図	○A～Dの各内容において、「技術を見つめよう」「技術をいかそう」「未来をつくろう」の3つの構成に統一し、技術の見方・考え方を働かせて問題解決能力が身につく構成になっている。 ○本冊と別冊『スキルアシスト』の2冊で構成されている。本冊では、効果的な指導が行われるよう、見開きで実習の流れが確認できるように示されるなど、本文・写真・挿絵・図・表・二次元コードなどが適切に配置されている。
開隆堂	○A～Dの各内容において、「技術の基礎基本を学ぼう」「基礎・基本を活用して問題解決をしよう」「これからの技術を考えよう」の3つの構成に統一し、技術の見方・考え方を働かせて問題解決能力が身につく構成になっている。 ○技術分野の学習の流れをつかみ、「問題解決」や「進め方」のページを適所に示し、

	生徒が学習の見通しを立てやすい構成になっている。
--	--------------------------

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○基本ページでは、「目標」「始めの活動」「学習課題」「まとめの活動」などがすべて同じ位置に配置されている。 ○「TECH Lab」は基礎的・基本的な技能をまとめて掲載し、いつでも確認できるようにしている。
教図	○幅広い実習題材をそろえ、時間数や技能に応じて選択でき、生徒の習熟度や進度差に対応できるようになっている。 ○紙面の〈見つける→学ぶ→振り返る〉は、生徒が学習の流れを捉えることができるように工夫されている。
開隆堂	○作業を安全に進めるために巻頭に安全チェックリストが示されている。また実習や実験において、安全のポイントをマークで示し、事故防止に配慮されている。 ○環境・共生に関する内容はガイダンスをはじめ、個々の学習の場面や各内容の最後で取り扱い、技術との関連について考えることができるように工夫されている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「考えてみよう」や「話し合ってみよう」で、個人で考えを深めたり、グループで交流しながら理解を深めていったりする活動が設定されており、言語活動の充実を図りながら、主体的・対話的に取り組めるように工夫されている。 ○「技術のめがね」で技術に込められた工夫などを読み取り、「最適化の窓」で、最適化するためにどのような折り合いが付けられているかが分かるようになっている。 ○問題解決をするために必要な技能は、副題材の実践例や「TECH Lab」にまとめ、取り組む課題に応じて習得した技能を適切に選択できるように工夫されている。
教図	○巻末の「設計・計画シート」「計画・育成シート」を利用し、問題解決の流れを明確にし、生徒が取り組むことができるよう工夫されている。 ○2章の「プチ問題解決にチャレンジ」では、基礎技能が学べる易しい題材が多く示されており、「スキルアシスト」やQRコードの映像資料を組み合わせることで学ぶことができるよう工夫されている。 ○各領域の2章または3章では、問題発見→課題設定→知識・技能を活用した課題解決に取り組む一連の流れから、技術の見方・考え方を形成できるようにしている。
開隆堂	○動画や資料、ワークシート等の学習に取り組む際に活用できるデジタルコンテンツが複数設定されており、1人1台タブレットを利用し、主体的・対話的に課題に取り組むことができるようになっている。 ○適所に配置されている「実験」や「やってみよう」などの活動を通して、技術の理解を深めることができ、「CHECK」によって学びを深めることができるように工夫さ

	れている。 ○各内容の適切な場所にQRマークを記載することによって、個別最適な学びと協働的な学びに活用できるよう工夫されている。
--	--

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東 書	○4編の最後には、「統合的な問題解決」として、4つの技術を統合し、システム化することによる問題解決例がまとめて掲載されている。 ○社会で活躍する技術に携わる人を「技術の匠」として紹介し、開発に込めた意図などを読み取り、考えることで生徒のキャリア学習に生かすことができるように工夫されている。
教 図	○「スゴ技」や「技ビト」のコラムでは、生徒が社会の中で使用されている技術に興味・関心を持つことで、生徒自身のキャリア学習に生かせるよう工夫されている。 ○巻末の「E編」では、学んだ技術を組み合わせた問題解決例を提示し、学習を振り返るとともに新たな可能性について考えられるよう工夫されている。
開隆堂	○巻末に「技術分野の出口」として、技術分野での問題解決学習を振り返り、さまざまな技術を組み合わせた実習例を示し、統合的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○技術者のメッセージのページを各内容の最後に配置し、生徒のキャリア学習に生かすことができるように工夫されている。

技術・家庭（家庭分野）（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○適当な分量で見やすい。重量による身体的負担の軽減もされており、配慮がある。内容については、時数・学期・学年配分等から見ても偏りがなく、適切である。また、1節1時間の構成となっているため、授業がしやすい。 ○実物大の写真が組み込まれており、イメージがしやすい。五大栄養素の項目では折り込みページがあり、栄養素の特徴と食品とを関連付けて学習できる。手縫いの單元では、縫い方やスナップの付け方がたくさんの順序や写真付きで解説され、ミシンの上糸のかけ方や下糸の入れ方は、「→」を使って示されており、わかりやすい。
教図	○教科書のサイズが、机上で使いやすいサイズになっている。 ○実物大の写真が組み込まれており、イメージがしやすい。興味をひかれる生き生きとした表情の写真、イメージしやすいイラストなどの掲載が豊富である。調理器具が、写真で掲載されていてわかりやすい。野菜の切り方が大きくて見やすい。献立を考える上で、摂取量の目安が食品のどれだけの記載があり、便利である。魚の手開きや三枚おろしが写真で掲載されていて、わかりやすい。「年中行事での行事食（巻頭）」や「食事の学習シール」が、興味深い。
開隆堂	○適当な分量となっていて見やすい。課題を解決するための手がかりや、本文内容の理解を助ける科学的な資料を効果的な表現や分量・大きさで示している。 ○実物大の写真が組み込まれており、イメージがしやすい。興味をひかれる生き生きとした表情の写真、イメージしやすいイラストなどの掲載が豊富である。中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用して、学習に取り組みやすいように工夫している。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○「ガイダンス」「衣食住の生活」「消費生活・環境」「家族・家庭生活」「生活の課題と実践」と「自立から共生」のストーリーになるように配列されている。各分野の目標や内容をふまえて教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されおり、生活をイメージしやすい。また、小学校の学習内容と関連させて学習できるように「リンクマーク」が示されているため、学習に興味を持ちやすくなっている。 ○実習例が見開きで確認できるようになっており、写真や図で作業の全体が把握しやすいようにしている。
教図	○「ガイダンス」「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」「生活の課題と実践」の順と学習指導要領に沿った構成となっている。各分野の目標や内容をふまえて教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されて

	いる。また、他教科や小学校家庭科の学習内容と関連させて学習できるよう「関連」マークが示されている。 ○「導入」「やってみよう」「学びを生かそう」「章末のまとめ」の学習の流れになっており、写真や図で作業の全体が把握しやすいようにしている。また、献立を作る学習で使われる「食事の学習シール」が付けられており、生徒に楽しんで食事名を知ってもらうだけのためにも使用でき、興味深い。
開隆堂	○「ガイダンス」「家族・家庭生活」「衣食住の生活」「消費生活・環境」「生活の課題と実践」の順と学習指導要領に沿った構成となっている。他教科や小学校家庭科の学習内容と関連させて学習できるよう「関連マーク」が示されている。また、高等学校に関連が深い内容は、「発展」として扱われている。 ○自ら生活課題を決めて取り組み、評価できる自分を育む家庭科の大本の課題に、日本を代表するアスリートを取りあげ、興味を持って学習できるように工夫されている。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。役割等に性別による偏りがないように取り扱われている。共生への配慮においてもダイバーシティの視点においても、あらゆる場面で取り扱われている。挿絵には、生徒のプライバシーにかかわる問題に深く踏みこみ過ぎないような配慮がされている。 ○手順図は視点の動きを考慮して、横や縦に流れる図に統一され、生徒が学習しやすいよう工夫されている。また、右利き・左利きの両者に対応した用具の使い方が写真で示されている。 ○ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインの観点から配色、デザイン等の配慮もなされている。ふり仮名は、特別支援教育で推奨されている丸ゴシック体を使用して配慮している。 ○写真の取り扱いが多く、視覚優位の生徒にとっても見やすくなっている。 ○安全に調理実習や製作などの実習を進めるため、特設ページが設定されるとともに、安全・衛生に気を付ける場面では「安全」「衛生」マークで注意点が示されるなど、事故防止に留意するよう配慮されている。また、食物アレルギーについての資料があり、生命や体を守るための工夫もみられる。
教図	○文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。役割等に性別による偏りがないように取り扱われている。性別や人種、年齢や障がいの有無などに関わらず、協力・協働していくことができるよう、本文の記述やイラスト・写真などが配慮されている。男女共同参画社会に関するコラムの掲載、イラストや写真で、男女の役割や服装が偏らないように配慮されている。 ○手順図は視点の動きを考慮して、横や縦に流れる図に統一され、生徒が学習しやすいよう工夫されている。 ○ユニバーサルデザインフォント（UD書体）で書かれており、カラーユニバーサル

	デザインにも配慮されており、誰にでも読みやすい教科書となっている。文字の大きさと行間なども適切である。 ○写真の取り扱いが多く、視覚優位の生徒にとっても見やすくなっている。 ○安全に調理実習や製作などの実習を進めるため、特設ページが設定されるとともに、事故防止や衛生のために気をつけるべきことがマークで示されている。食物アレルギーについては、食品の表示とともに取りあげ、調理実習ページでは特定原料に赤線を引いてわかりやすく示し、代替食品の例を示すなど配慮されている。
開隆堂	○文章、写真、挿絵、図、資料などが、人権尊重の観点から配慮されている。役割等に性別による偏りがないように取り扱われている。男女の区別や障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まですべての人が平等な関係であることを前提にして、記述や課題の設定・写真や図を工夫している。 ○手順図は視点の動きを考慮して、横や縦に流れる図に統一され、生徒が学習しやすいよう工夫されている。 ○ユニバーサルデザインフォント（UD書体）を使用し、カラーユニバーサルデザインに関する配慮もなされている。ふり仮名を打ち、本文では文節が途中で途切れなないように分かち書きが意識され、特別支援を必要とする生徒への配慮をしている。重要語句は太字（ゴシック体）になっており、表記のメリハリがついている。 ○写真の取り扱いが多く視覚優位の生徒にとっても見やすくなっている。 ○調理実習や製作実習等の際の安全について、基本的事項としてまとめ、適する場所に「安全マーク」を付し配置している。保育実習での配慮も行われている。食物アレルギーを含む食材についての情報を、調理実習例に具体的に記述している。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○デジタルコンテンツで調理の仕方や縫い方、消費生活や住生活の動画を視聴できるQRコードが各ページにあり、使いやすい。 ○導入時の「レッツスタート」で課題が提示されており、意識しやすい。「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」など、実践的・体験的な活動を通して言語活動を行えるように工夫されている。
教図	○QRコードで動画を見ることができ、視覚で学習できる。 ○「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」など、実践的・体験的な活動を通して言語活動を行えるように工夫されている。
開隆堂	○QRコードで動画を視聴でき、便利である。 ○「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」など、実践的・体験的な活動を通して言語活動を行えるように工夫されている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○調理実習や被服実習の参考例があり、生活に取り入れやすい。 ○「資料」のコラムにより、単元で押さえておきたい事項が掲載されている。 ○「考えてみよう」、「やってみよう」、「調べてみよう」で自ら実践できることをテーマにして実行できるようになっている。
教図	○SDGsの観点が多く取り入れられている。 ○押さえておきたい事項が、青色の太文字になっている。安全・衛生等のマーク表示により、学習するうえで考えることが示されている。 ○各章の終わりに「センパイに聞こう!」のコラムがあり、学習を振り返り、将来の参考になる。
開隆堂	○発展の学習で、食品の実験を取り入れている。 ○「先輩からのエール」で、食生活や衣生活に従事している人の声が聞けるようになり、将来の職業にも関心が持てる。 ○中学生や地域の取り組みのコラムがあり、課題を考えやすい。防災を視野に入れたバッククッキングの掲載がある。

英語（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○各学年・各学期の到達点を CAN-DO リストとして示し、明確な到達点に向かって学習を進められるようにしている。 ○「Activity⇒Unit Activity⇒Stage Activity」という順で全体を通して、「Stage Activity」に向けて活動を系統的に積み上げることができるようにしている。 ○「Read&Think」では、「Round Reading」ができるように作られている。また、200words以上の「長文読解」を目的にしておらず、あえてその内容を2つにわけること、新出文法事項を学習する必要がなく、1ページ1文法の学習ができるように工夫されている。
開隆堂	○1年生では、自己紹介、日本文化、海外の学校行事や通学路、オーストラリアやフィンランドについての題材、2年生では、アフリカの甲子園、屋台料理、カナダの自然保護、原爆についての題材、3年生では手話、チョコレートの歴史やフェアトレード、プラスチックゴミの問題、AIについての題材が取り扱われ、学校生活や日常生活といった身近な話題を中心とした場面設定がされており、発達段階に即している。 ○「Scenes」で気付きを促し、新表現を知り、本文で内容を理解し、Review、Retellで自らの英語で学習の振り返りを行い、それを自己表現に繋げている。ゴールまでの流れが、すべての技能を活用するように工夫されている。
三省堂	○各レッスンでは、4技能5領域にわたる言語活動がバランスよく配置されており、単に「理解」と「表現」にとどまらず、「伝え合うこと」と「双方向のコミュニケーション」も重視している。 ○目的や場面を設定し、思考力・判断力・表現力を働かせるペアワークやグループワークを配置し、主体的にコミュニケーションをとる態度を育成するように配慮されている。 ○Scene 1は、音声のみのページで、音声を聞いて内容を理解するねらいで作られている。巻末にスクリプトが掲載されており、学び方も指示されている。 ○Scene 2は、適度な語数（70語程度）の文で構成されている。
教出	○各レッスンの始めには目標、終わりには振り返りが明確に書かれており、そのレッスンにおいて「内容理解」と「活動」でそれぞれ何をめざすのかがわかりやすい。 ○1年生では学校生活や日常生活といった身近な話題を中心とした場面設定がされており、発達段階に即している。 ○基本的に各レッスンの本文は会話で構成されており、時折、SNSや日記、新聞・雑誌記事など、日常生活で実際に英文を読む場面を設定した読解文が扱われている。 ○本文の分量（語数）は多めであり、読解力を養う内容となっている。 ○3年生では食品ロスや自然保護などのSDGsにつながる内容や、働くことの意義や卒業後の進路などの単元で自分の将来を見据えることができる。また、それについて話せるようになるための文法配置がされており、進路学習とのつながりを意識する

	こともできる。
光村	○非常に自然な会話の流れとなるように工夫されており、表現、vocabulary 共に豊富である。 ○各技能に対応した目標が、明確に提示されている。
啓林館	○各 Unit 目標は Input と Output が各 1 つ設定されており、振り返り・自己評価をする箇所が設けられている。 ○小学校で慣れ親しんだ語彙は、新出単語と区別して表示されている。 ○ユニットの Part 1～3 の短い文で、トピックを導入し、「Read & Think」でさらに内容を深めていくので理解しやすい。 ○「Read & Think」も、適度な分量で読みやすい。 ○「Express yourself」が、以前より簡略化されて、帯学習として利用できる。 ○3 年生では説明文だけでなく、物語文が挟まっていることで、生徒の興味・関心を高める内容構成になっている。また、生物の保護や地球温暖化に触れた話題など、SDGs につながる内容も含まれている。

2. 組織・配列

発行者	調査事項
東書	○各 Unit のパート構成が同じ流れになっており、学習の見通しが立てやすくなっている。 ○全学年を通して、既習事項をスパイラルに学習できる構成になっていて、Unit 0 では、前学年までの学習を復習できるようになっている。
開隆堂	○「Our Project」という活動が年に 3 回設けられており、各単元で学ぶ表現の使用目的や場面設定がしてあり、既習事項を活用しながら言語活動に取り組む工夫がされている。同時に、生徒が主体的・協働的に英語を学ぶことができるようにたいへんよく工夫されている。また、各単元にペアやグループで行う活動が多く取り入れられており、学習指導要領の趣旨をたいへんよく生かしている。 ○各単元では、最初に絵や写真が配置されている。また、活動ごとに、本文や写真などが効果的に配置され、活動に沿うように工夫されている。
三省堂	○レッスンの終わりに目標となる「Goal Activity」を設定し、ゴールに向かって「とびら」から段階的に学びを進めることができる。 ○小中連携パートがあり、小学校で話したことがある身近な話題について、新しい友達とやりとりし、お互いのことを知ることができる。また、そこで文字の読み方や音と文字の関係を確認し、中学校の学びへとスムーズに接続できるようになっている。
教出	○文法事項の配列において、必要な言語材料を使いながら、設定された場面において設定された目標を達成できるように工夫されている。 ○1 年生の Lesson 1 では自己紹介をできるようにするために、be 動詞、一般動詞、can を用いた文（各疑問文・否定文）が、Lesson 2 では相手に質問ができるようにするために疑問詞（What、When、Who）ではじまる疑問文が一気に扱われており、小学校で慣れ親しんできた発話の活動を広げる設定がされており、小中接続の役割を果たし

	ている。 ○3年生では新出文法が少ないため、その分表現に時間をかけることができる構成になっている。1, 2年次に新出文法が固まってしまうが、その分3年次において実践の時間を多くとれることは大きなメリットである。
光村	○各レッスンの目標である自己表現活動へとつながるように、インプットからアウトプットまで自然な流れで構成されている。 ○扱う文法・表現は、日常生活の場面・状況を意識しており、例文や練習問題で繰り返し触れることで、より実践的に学習することが期待できるように工夫されている。
啓林館	○小学校での既習文法を踏まえた文法配列となっている。「Listen and Think」は、学習指導要領に沿って、聞く目的意識を持たせ、内容を捉える言語活動となっている。

3. 人権の取扱い

発行者	調査事項
東書	○1～3年を通して、SDGsの17の目標に関連した題材を豊富に取り上げている。中でも3年間を通して、防災や安全の視点を重視している。日本国内の国際化に目を向けて、災害時の外国人支援について取りあげている。
開隆堂	○性別、国籍、人種などの区別なく、すべての人が協力して生活し、よりよい社会を構築するように工夫されている。登場人物の配置、イラストや写真を用いて示すことにより、生徒が主体的に社会参画できる態度を育成できるように配慮されている。 ○文章、写真、資料などが、全ての生徒に見やすく、使いやすいように配置されている。また、デジタル教科書には、ルビふりの設定が出来るように工夫されている。 ○SDGsのマークが各programの最初のページに載っており、世界が抱える問題と解決法を見つめやすくなるように工夫されている。
三省堂	○中学生の知的好奇心や発達段階に合った題材を選び、身のまわりの問題や社会的な課題について考えるきっかけを与えるものになっている。例えば、1年生では「非常食」、2年生では「水と環境問題」、3年生では「平和」「公平」「ユニバーサルデザイン」などを題材にしている。 ○国際理解、日本文化理解に重点を置いた題材が多く、題材を通して、多文化交流をテーマとして活用できる。
教出	○1年生では、Lesson 9でSDGs やリサイクルをテーマにした題材が扱われており、特に環境問題において、SDGs 達成のために自分たちに何ができるかを考えさせる内容となっている。また、世界へ視野を広げる第一歩として、Lesson 5では日本とオーストラリアの学校生活の違いが扱われている。 ○Reading 2において、広島のことに触れながら人権について考える機会が設けられている。
光村	○ジェンダーレスを一部取り入れ、男女の社会的役割を平等にし、固定観念で区別をしない配慮をしている。
啓林館	○登場人物や例題において、様々な人種・民族の人々を登場させている。 ○防災についての知識を学ぶことができる。

	○点字ブロックの話や平和についての資料など、人権について考える機会が多く含まれている。
--	---

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東 書	○教科書冒頭に「学び方コーナー」を設けて、英語学習のコツをまとめている。 ○各学年の巻末に帯活動用の「Small Talk」を設け、即興での英語の応答練習ができる。また、QRコードから動画を見ることも可能である。 ○語句クイズ、Key sentence クイズがあり、生徒自ら取り組める教材がついている。
開隆堂	○オーセンティックな英文が使用されており、質量ともに充実している。題材也多岐にわたり、中学生として英語で触れ考えてほしいトピックが提供されている。生徒が読みながら思考を働かせるような工夫がみられる。 ○Action のページに目標が載っており、振り返りがしやすいように工夫されている。 ○様々な状況に合わせた多様な学びに対応できるように工夫されている。ペアで伝え合うなど、協働的な学習が進められるように工夫されている。
三省堂	○「For Self-study」のページを設け、語彙、音読、英語での表現方法など、様々な観点で「学び方」を紹介し、生徒一人一人に合った学び方をサポートしている。 ○既習事項を復習したいときに、短いマンガやイラストや図を用いて使われる場面や使い方を確認できるように工夫されている。 ○各レッスンで取り組むテーマが、「Goal Activity」として最初に提示されており、調べ学習などに使うことができる。
教 出	○各レッスンの各パートにある「Think & Try」では、本文の会話の続きや会話の内容に関することを自由に想像して考え、やりとりをする場面が設定されており、本文内容を自己表現につなげることができる工夫がある。 ○各レッスン終わりの「Task」では、カードやレポート、ポスター、マップ、インタビューの完成など様々な方法を通して、本文内容を思い出して retell、または rewrite できるよう設定されている。 ○全体的に文章量が中学3年生には適切で、内容も濃いため興味をひきやすくグループワークに適している教材になっている。また、各 Project において、スモールステップの設定が的確で、すべての生徒が取り組みやすい内容になっている。
光 村	○内容が精選されており、生徒が深く思考できるような工夫が随所に見られる。 ○英語の4技能を統合的に養成することができるようなアクティビティーが、豊富に盛り込まれている。
啓林館	○体育祭、職場体験、修学旅行、郷土や伝統文化、防災・環境問題などを題材とし、学校の教育課程や目標と連携がとりやすい。また、他教科（社会）との連携を図り、教科横断的な学習ができる。 ○「Express yourself」では、「Tool Box」や「使える語句」がのっている巻末ページを指示してあるので、取り組みやすい。 ○書く Part で話してからその内容を書くという流れができており、やりっぱなしで終

	わることのない構成となっている。書く Project では、例を聞いてから自分事に当てはめる流れは自然でよい。
--	--

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○QRコンテンツで動画は8段階で速度調整でき、自分のペースで繰り返し視聴することができる。また、全ての「Key Sentences」に解説動画があり、生徒用端末での視聴が可能である。 ○教科書でWPM (word per minute 1分間で読むことのできる単語数) が測れるようになっており、音読の目標を設定しやすい。また、英文と訳文を左右で表示できるようになっているので、授業においていろいろな方法で活用できる。
開隆堂	○SDGs 関連の題材が多く扱われており、英語科の教科目標と合致している。各題材は、思考を促す内容であり、生徒が自ら問いを立て、思索するような探究的な展開が期待できる。また、各レッスンは4技能5領域を統合的に養成でき、実際のコミュニケーションにつながる学習ができるようなタスクで構成されている。 ○生徒の表現活動で使える語彙や表現が、豊富に示されている。
三省堂	○「Take Action!」の単位では、リアルな場面での英語活用を想定し、特有の表現を使ってやりとりしたり、必要な情報や概要、要点を聞き取ったり読み取ったりすることができるようになっている。 ○生徒用デジタルコンテンツでは、単語の4択クイズ、発音チェックなど自分で学習できる内容になっている。
教出	○「Reading」では、各レッスンのような日常的な会話ではなく、物語文を通して、長文の概要を理解したり、続きを想像しながら読んだりすることで、発展的な読解に取り組むことができる。 ○実話に基づいた話が採用されており、生徒たちにも馴染みやすい。また、索引において、意味は同じだが単語が違うもの(例: bring と take など) のニュアンスの違いや厳密な使い分けについて詳しく記載されており、説明が充実している。
光村	○具体的なテーマを設定したゴールを位置付け、既習表現を繰り返し活用できるようにし、「Let's Read」で視野を広げるなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。
啓林館	○紙面にQRコードやURLを掲載し、家庭でも音声や動画を使って学習ができるよう、学習の個別最適化が意識されている。 ○「Can do リスト」が巻末にあり、自己評価に利用できる。 ○「Let's listen など Listening」のスク립トが巻末にあり、音声を聞きながら文字を見て確認できる。 ○付録の部分に1年生、2年生で習った重要文だけを取りあげたページがあり、実力テスト等で全学年分の範囲を学習しなければならない3年生にとっては、使いやすいページになっている。

道徳（調査報告書）

1. 内容の程度

発 行 者	調 査 事 項
東書	○発達段階を考慮し、指導のねらいに即した内容になっている。例えば、主人公が生徒と同年代の教材、現代的な諸課題を取りあげた教材、様々な分野で活躍する著名人やスポーツ選手などを取りあげた教材を通して、生徒が自己の生き方や人間としての生き方や人間としての生き方について、より考えやすいよう配慮されている。 ○教材末尾の設問例を通して、身近な社会問題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うように配慮されている。 ○教材が生徒にとって理解しやすく、考えを深めることができる。
教出	○発達段階を考慮し、指導のねらいに即した内容になっている。例えば、主人公が生徒と同年代の教材、現代的な諸課題を取りあげた教材、様々な分野で活躍する著名人やスポーツ選手などを取りあげた教材を通して、生徒が自己の生き方や人間としての生き方や人間としての生き方について、より考えやすいよう配慮されている。 ○教材末尾の設問例を通して、身近な社会問題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うように配慮されている。 ○教材が生徒にとって理解しやすく、とても考えを深めることができる。
光村	○発達段階を考慮し、指導のねらいに即した内容になっている。例えば、主人公が生徒と同年代の教材、現代的な諸課題を取りあげた教材、様々な分野で活躍する著名人やスポーツ選手などを取りあげた教材を通して、生徒が自己の生き方や人間としての生き方や人間としての生き方について、より考えやすいよう配慮されている。 ○教材末尾の設問例を通して、身近な社会問題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うように配慮されている。 ○教材が生徒にとって理解しやすく、とても考えを深めることができる。
日文	○発達段階を考慮し、指導のねらいに即した内容になっている。例えば、主人公が生徒と同年代の教材、現代的な諸課題を取りあげた教材、様々な分野で活躍する著名人やスポーツ選手などを取りあげた教材を通して、生徒が自己の生き方や人間としての生き方や人間としての生き方について、考えやすいよう配慮されている。 ○教材末尾の設問例を通して、身近な社会問題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うように配慮されている。 ○教材が生徒にとって理解しやすく、考えを深めることができる。
学研	○発達段階を考慮し、指導のねらいに即した内容になっている。例えば、主人公が生徒と同年代の教材、現代的な諸課題を取りあげた教材、様々な分野で活躍する著名人やスポーツ選手などを取りあげた教材を通して、生徒が自己の生き方や人間としての生き方や人間としての生き方について、より考えやすいよう配慮されている。 ○教材末尾の設問例を通して、本当に身近な社会問題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うように配慮されている。 ○自分の生活と関連させた教材が多く、場面を想像しやすい。また、主人公視点で考

	える作品が多く、生徒にとってもとても理解しやすく、考えをしっかりと深めることができる。
あか図	○発達段階を考慮し、指導のねらいに即した内容になっている。例えば、主人公が生徒と同年代の教材、現代的な諸課題を取りあげた教材、様々な分野で活躍する著名人やスポーツ選手などを取りあげた教材を通して、生徒が自己の生き方や人間としての生き方や人間としての生き方について、考えやすいよう配慮されている。 ○教材末尾の設問例を通して、身近な社会問題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うように配慮されている。 ○教材が生徒にとって理解しやすく、考えを深めることができる。
日科	○発達段階を考慮し、指導のねらいに即した内容になっている。例えば、主人公が生徒と同年代の教材、現代的な諸課題を取りあげた教材、様々な分野で活躍する著名人やスポーツ選手などを取りあげた教材を通して、生徒が自己の生き方や人間としての生き方や人間としての生き方について、考えやすいよう配慮されている。 ○教材末尾の設問例を通して、身近な社会問題を自分との関係において考え、解決しようとする意欲や態度を養うように配慮されている。 ○教材が生徒にとって理解しやすく、考えを深めることができる。

2. 組織・配列

発 行 者	調 査 事 項
東書	○各学年とも、4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 ○目次がページ順と内容項目ごとの4つのテーマ別の2つあり興味深い。 ○巻末に学期ごとのふりかえりシートがあり、切り取り線や色もついており、提出しやすくなっている。
教出	○各学年とも、4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 ○目次がページ順と独自の7つのテーマ別の2つあり興味深い。 ○巻末に学期ごとのふりかえりシートがあり、切り取り線や色もついており、提出しやすくなっている。
光村	○各学年とも、4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 ○「道徳で学ぶ22のキーワード」がイラスト入りで記載されており、生徒自身が道徳の内容を意識しながら、教材にむかうことができる。 ○1年間の最初の教材が「道徳の学習を始めよう」、最後の教材が「1年間の学びを振り返ろう」で、学習の仕方を学べ、自分の成長をしっかりと振り返ることもできる
日文	○各学年とも、4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 ○ミニ教材で学び方の方法や教材のマークの意味の説明が丁寧に示されて興味深い。 ○道徳ノートがあり、学習の振り返りがしやすい。
学研	○各学年とも、4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 ○目次がページ順と内容項目ごとの4つのテーマ別の2つあり興味深い。 ○巻末に学期ごとのふりかえりシートがあり、切り取り線や色もついており、提出しやすくなっている。

あか図	○各学年とも、4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 ○目次が、ページ順と独自の10のテーマ別の2つあり、興味深い。 ○巻末に学期ごとのふりかえりシートがあり、切り取り線や色もついており、提出しやすくなっている。
日科	○各学年とも、4つの視点でバランスよく組織・配列されている。 ○内容項目ごとの順番になっており指導しやすい。 ○巻末にウェルビーイングカードがあり、主人公の気持ちを具体的に考えやすい。

3. 人権の取扱い

発 行 者	調 査 事 項
東書	○様々な教材において、人権尊重について認識を深めることができるように配慮されている。 ○フォントや配色、写真、挿絵、図、資料などが、すべての生徒にとって使いやすいように配慮されている。
教出	○様々な教材において、人権尊重について非常に認識を深めることができるように配慮されている。 ○フォントや配色、写真、挿絵、図、資料などが、すべての生徒にとって使いやすいように配慮されている。
光村	○様々な教材において、人権尊重について認識を深めることができるように配慮されている。 ○フォントや配色、写真、挿絵、図、資料などが、すべての生徒にとって使いやすいように配慮されている。
日文	○様々な教材において、人権尊重について認識を深めることができるように配慮されている。 ○フォントや配色、写真、挿絵、図、資料などが、すべての生徒にとって使いやすいように配慮されている。
学研	○様々な教材において、人権尊重についてとても認識を深めることができるように配慮されている。 ○フォントや配色、写真、挿絵、図、資料などが、すべての生徒にとって使いやすいように配慮されている。
あか図	○様々な教材において、人権尊重について認識を深めることができるように配慮されている。 ○フォントや配色、写真、挿絵、図、資料などが、すべての生徒にとって使いやすいように配慮されている。
日科	○様々な教材において、人権尊重について認識を深めることができるように配慮されている。 ○フォントや配色、写真、挿絵、図、資料などが、すべての生徒にとって使いやすいように配慮されている。

4. 学び方の工夫

発 行 者	調 査 事 項
東書	○生徒が理解しやすい文章になっている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた「Plus」が設けられ、各学年において多様な学習活動が展開できるよう工夫されている。
教出	○生徒がとても理解しやすい文章になっている。 ○「ひろば」のページで多面的・多角的にさらに考えを広げたり、深めたりしやすい。
光村	○生徒がとても理解しやすい文章になっている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を促す「チャレンジ 問いを立てよう」「チャレンジ 演じて考えよう」や「やってみよう」が設けられ、多面的・多角的に考えを広げたり、深めたりできる。 ○巻末に学習内容を簡単に書くことができ、1年間の学習を振り返りやすい。
日文	○生徒が理解しやすい文章になっている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習に適する「学びを深めよう」が設けられ、各学年において多様な学習活動が展開できるよう工夫されている。
学研	○生徒がとても理解しやすい文章になっている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた「深めよう」が設けられ、各学年において多様な学習活動が展開できるよう工夫されている。 ○題名の下にあるひとことが生徒に語りかけるように書かれており、生徒の興味を掻き立てる。
あか図	○生徒が理解しやすい文章になっている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習を取り入れた「マイ・プラス」が設けられ、各学年において多様な学習活動が展開できるよう工夫されている。
日科	○生徒が理解しやすい文章になっている。 ○問題解決的な学習や体験的な学習となるよう、教材の設問例や展開が工夫され、各学年において多様な学習活動が展開できるよう工夫されている。

5. 補充的な学習・発展的な学習

発 行 者	調 査 事 項
東書	○二次元コードから、教材と関連する動画や資料などを活用することができる。 ○教材ごとに「つぶやき」の欄があり、学習時の気づきを後になって見返すことができ、自己の成長や変容にとても気づかせやすい。
教出	○二次元コードから、教材と関連する動画や資料などを活用することができる。 ○教材ごとに「学びの道しるべ」では、文章の展開にあわせた発問があり、様々な登場人物の視点に立って、いろんな人の気持ちを考えることができる。
光村	○二次元コードから、教材と関連する動画や資料などを活用することができる。 ○読み物の最後に「考えよう」があり、考えをさらに発展させやすい。 ○「見方を変えて」「つなげよう」では、教材についての発問だけでなく、社会全体に問いかける発問もあり、考えを広げていくことができる。

日文	○二次元コードから、教材と関連する動画や資料などを活用することができる。 ○読み物の最後に「考えてみよう、自分にプラスワン」があり、考えを発展させやすい。
学研	○二次元コードから、教材と関連する動画や資料などを活用することができる。 ○読み物の最後に「考えよう」があり、考えをさらに発展させやすい。 ○「クローズアップ」が多面的・多角的に考えを広めたり、考えを深めたりするきっかけになる。
あか図	○二次元コードから、教材と関連する動画や資料などを活用することができる。 ○読み物の最後に「考えを深める、いろいろな見方で考える、自分を見つめて考える」などがあり、考えを発展させやすい。
日科	○二次元コードから、教材と関連する動画や資料などを活用することができる。 ○読み物の最後に「考えよう、深めよう」があり、考えを発展させやすい。